

令和 8 年度

# 総合型選抜学生募集要項

## 総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

人 文 社 会 科 学 部

(人文社会科学科グローバル・スタディーズコース)

教 育 学 部

(学校教育教員養成課程中学校教員養成コース)

理 学 部

(理 学 科)

工 学 部 フレックスコース

(システム創成工学科)

農 学 部

(食料生命環境学科)

## 総合型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

工 学 部 昼 間 コ ー ス

(高分子・有機材料工学科)

(化学・バイオ工学科)

(情報・エレクトロニクス学科)

(機械システム工学科)

(建築・デザイン学科)

## 総合型選抜Ⅲ(大学入学共通テストを課す総合型選抜)

教 育 学 部

(学校教育教員養成課程中学校教員養成コース)



山形大学  
Yamagata University

## 教育学部への改組に伴う入学定員及び募集人員について

山形大学は、令和8年4月の地域教育文化学部から教育学部への改組が文部科学省から認められました。

改組に伴い、人文社会科学部及び理学部の入学定員の変更を以下のとおり計画しています。

以下の学部の募集人員については、本要項13ページに記載のとおりですが、決定次第、本学ホームページでお知らせします。

### 【現行】

学部	学科	入学定員
人文社会科学部	人文社会科学科	280
地域教育文化学部	地域教育文化学科	165
理学部	理学科	200



### 【令和8年4月改組予定】

学部	学科・課程	入学定員
人文社会科学部	人文社会科学科	290
教育学部	学校教育教員養成課程	145
理学部	理学科	210

## 医学部医学科の入学定員及び募集人員について

医学部医学科では、文部科学省及び厚生労働省からの「令和8年度医学部臨時定員増に関する意向調査」において、臨時定員増の申請を検討中です。

現在の同学科の入学定員及び各選抜の募集人員については、本要項13ページに記載のとおりですが、申請の結果については、決定次第、本学ホームページでお知らせします。

## 生成AIの利用について

山形大学では、学生に対して、ChatGPTなどの生成AIに関する注意喚起を行っています。入学試験に際しては、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いいたします。

なお、留学生の皆さんは、下記注意事項の他、必要に応じて各国・地域の法令等も踏まえるようお願いいたします。

### 注意事項

生成AIに入力した情報は、AIの学習に利用される恐れや、意図せずして漏えいする恐れがあります。また、生成AIの出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構、偏った主張又は倫理上問題のある表現などが含まれている可能性があります。

出願書類等の作成に当たっては、「山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正を疑われたり、入学後に修学上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に検討したものを提出してください。

## 新型コロナウイルス感染症への対応に関するお知らせ

入学者選抜における出願書類について

### 【調査書について】

新型コロナウイルス感染症の影響による高等学校等の臨時休業により、出席日数・特別活動の記録・指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

また、授業日数、出席停止・忌引き等の日数、オンラインを活用した特例の授業の参加日数等の記載の有無によって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

### 【自己PR書・スポーツ活動に関する調査書・エントリーシートについて】

新型コロナウイルス感染症の影響により、高等学校等における部活動等の諸活動や大会、資格・検定試験等に参加できず、実績や結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることはありません。

自己PR書及びエントリーシート等にこれらの活動について記載する場合、入学志願者の成果獲得に向けた努力のプロセス等についても記載してください。

# 目 次

インターネット出願の流れ	1
I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	5
II 入学定員・募集人員	13
III 山形大学総合型選抜の定義	14
IV 総合型選抜日程表	14
V 総合型選抜共通事項	
1 総合型選抜に係る留意事項について	18
2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について	19
3 入学試験情報開示について	19
4 総合型選抜に関するお問合せについて	20
5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について	20
6 出願方法等について	20
VI 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）	
学部別募集要項細目	
【人文社会科学部】	26
【教育学部】	32
【理学部】	40
【工学部フレックスコース】	46
【農学部】	51
VII 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）	
学部別募集要項細目	
【工学部昼間コース】	55
VIII 総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）	
学部別募集要項細目	
【教育学部】	60
IX 受験者心得	68
X 山形大学試験場案内図	70
XI 大学案内及び学部のパンフレット請求方法	74
☆ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】	75
出願書類	
● 大学入学共通テスト成績請求チケットはり付け台紙【総合型選抜Ⅲ受験者用】	
● 志望理由書【人文社会科学部・教育学部・農学部用】、【工学部用】	
● 自己PR書【人文社会科学部・教育学部用】、【工学部用】	
● スポーツ活動に関する調査書【教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コース（保健体育分野）用】	
● エントリーシート【理学部用】	
● 探究活動レポート【理学部用】	
● プレゼンテーション概要【農学部用】	

## 自然災害等により被災された 山形大学学部入学志願者の検定料の免除について

山形大学（以下「本学」という。）では、東日本大震災、令和6年能登半島地震及び令和7年4月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和8年度学部入学選抜試験に係る検定料について、次のとおり免除の特別措置を講じます。

### 1 免除対象となる入学選抜試験

本学が実施する令和8年度学部入学選抜試験（一般選抜、総合型選抜（社会人入試及び私費外国人留学生入試を含む。）及び学校推薦型選抜）を対象とします。

### 2 対象者

令和8年4月に本学の学部に入學を志願する方で、東日本大震災、令和6年能登半島地震及び令和7年4月以降に発生した自然災害等により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 入学志願者の学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が自然災害等に際して災害救助法の適用された区域に居住し、家屋（持家に限る）が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
- (2) 学資負担者が自然災害等により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が自然災害等により失職し、出願時まで引き続き無職の者
- (4) 福島第一原子力発電所の事故の際に、帰還困難区域（申請時点で指定されている区域）に居住していた者

### 3 本件に関する申請方法等

申請期限は出願期間前になりますのでご注意ください。

詳細は、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

<https://www.yamagata-u.ac.jp>

お問合せ先：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL (023) 628-4141

# インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・出願書類等の詳細は、必ず学生募集要項本文で確認し、不備のないように出願してください。



## STEP

# 1

### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンタ、顔写真データなどを用意してください。

出願に必要な書類には、発行まで時間を要するものがあります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

パソコン等の推奨環境は24ページを参照してください。



## STEP

# 2

### インターネット出願サイトにアクセス

▼大学ホームページからアクセス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/internetapplication>



## STEP

# 3

### マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は  
**マイページ登録** を  
クリックしてください。



②メールアドレスの登録を行って  
**仮登録メールを送信** を  
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から  
**ログインページへ** を  
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに  
初期パスワードと  
本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメール  
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面にて登録した  
メールアドレスと④で届いた  
『初期パスワード』を入力の上、  
**ログイン** を  
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を  
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して  
**次へ** を  
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して  
**この内容で登録する** を  
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。  
マイページへ を  
クリックしてください。

⑩ 上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願登録期間中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。  
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。



出願登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。  
検定料の支払い後に誤入力に気づいた場合は、本要項20ページに記載の志願学部の担当部署に連絡してください。

## STEP

# 4

## 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の  
**出願手続きを行う** ボタン  
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード  
**写真選択へ** ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の  
入力



⑥ 出願内容の確認  
**入学願書(サンプル)** ボタンを  
クリックすると入学願書が確認できます。



⑦ 出願登録完了  
**引き続き支払う** ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。  
**受付番号(12桁)は必ず控えてください。**  
出願情報を確認する場合と、出願書類等  
を出力する際に必要になります。



⑧ 検定料の支払い方法  
● コンビエンスストア  
● ペイジー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えた上、確認メールで通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号  
メモ(13桁)

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済  
番号メモ(11桁)

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号  
メモ(11桁)

確認番号  
メモ(6桁)

収納機関番号  
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号はペイジーで  
お支払いの際に必要となります。

出願登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

## 検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、お支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

インターネットで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、  
FamilyMart



## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

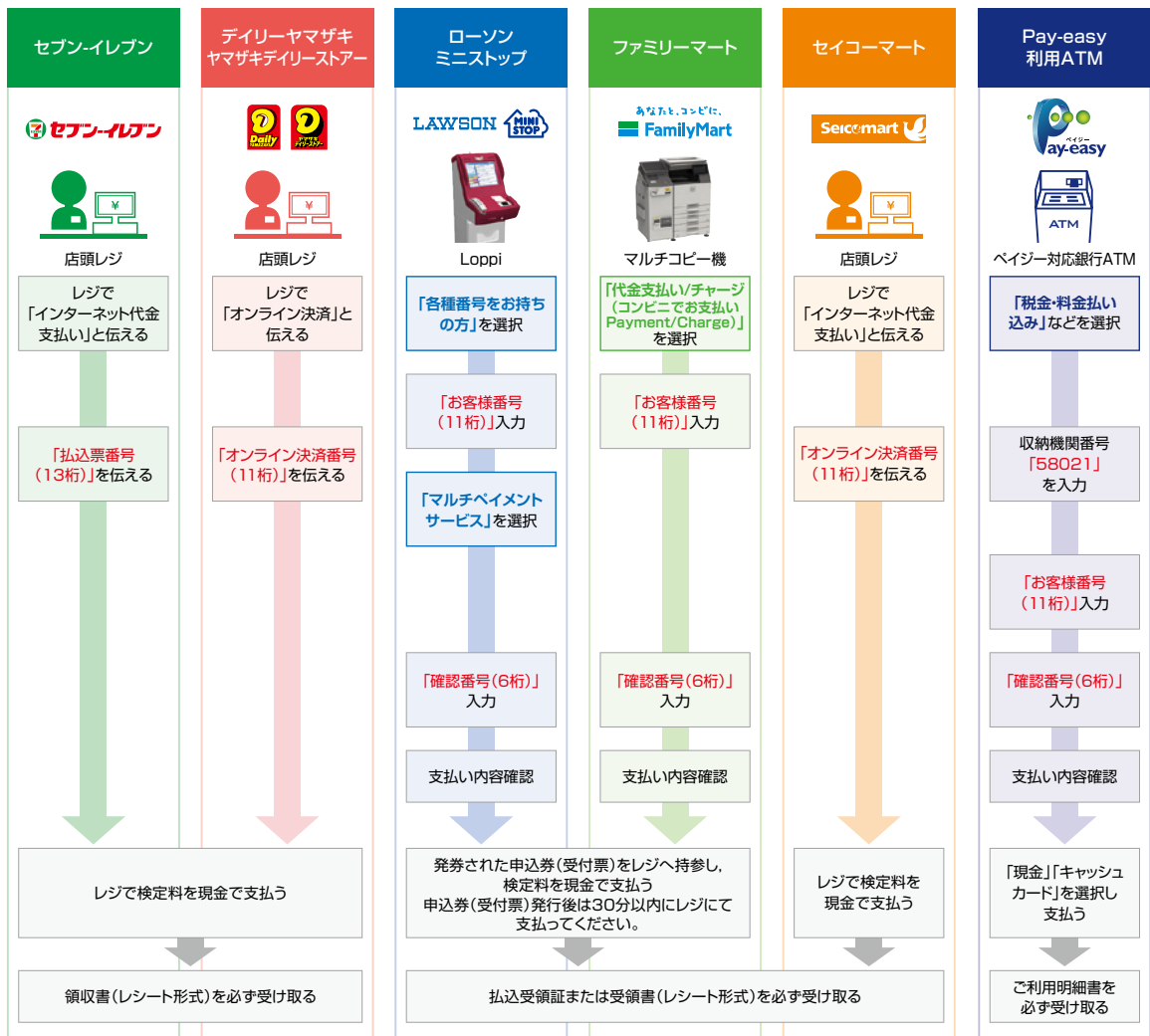
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作の上、お支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



## 4 銀行ATM

# STEP

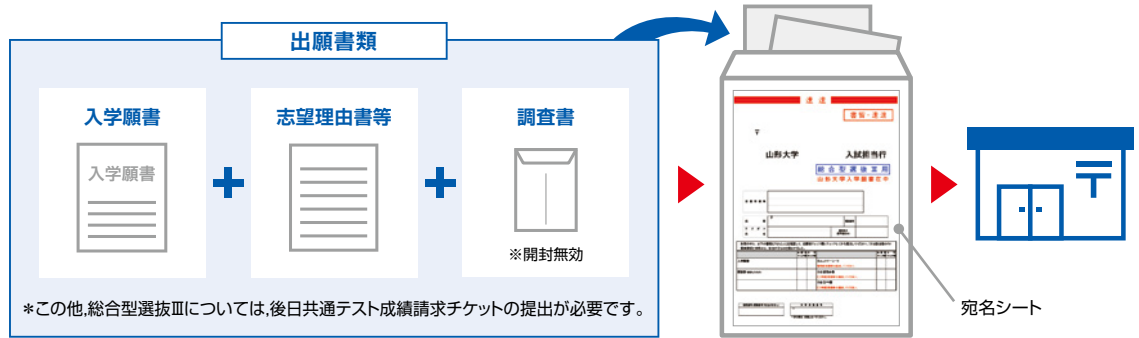
# 6



## 出願書類等の印刷と郵送又は持参

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払い後にダウンロードできる書類をA4タテ片面でカラー印刷し、その他の出願書類等と併せて、出願期間内に本学に届くように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送又は持参により提出してください。本要項20～21ページの出願期間を参照してください。



\*この他、総合型選抜Ⅲについては、後日共通テスト成績請求チケットの提出が必要です。

### 提出先

出願書類の提出先は宛名シートに自動で印字されます。

### 出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒  
(24cm×33.2cm)にはり付けて作成

### 「入学願書」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「入学願書(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「入学願書(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学願書の出力ができます。

### ■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。  
出願に必要な書類は学生募集要項本文を参照してください。

※出願を受理した検定料・出願書類は、募集要項に記載の場合を除き一切返却しません。

## 〈出願完了〉

### 出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類等を郵送又は持参して完了となります。登録が完了しても出願期間内に書類が提出されなければ出願を受理できませんので注意してください。

出願登録及び検定料の支払いは24時間可能です。ただし、出願期間最終日は16時30分までです。出願書類等の提出については、本要項20～21ページの出願期間を参照の上、ゆとりを持った出願を心がけてください。

# STEP

# 7



## 受験票の印刷

受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへメールでお知らせします。

ダウンロード可能期日は、本要項14～17ページの「受験票ダウンロード可能メール送信」欄を参照してください。

ダウンロード可能期日にメールが届かない場合は、志願学部の担当部署(20ページ参照)に連絡してください。

「出願内容の確認/入学願書の印刷」ボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日は、印刷した受験票を忘れず持参してください。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙にタテ片面でカラー印刷してください。



## I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために、多様な方法で選抜を実施します。

### 人文社会科学部

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像（3つのC）

Challenge： 人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人

Cooperation： 多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人

Contribution： 活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

#### ◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から人文社会科学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜Ⅰ、社会人入試、私費外国人留学生入試、学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱを実施します。

#### 人文社会科学科

##### （グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースでは、外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人（Challenge）
- ・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
- ・基礎的な英語力を身に付けており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身に付ける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

#### ◆入学者選抜方法

##### 総合型選抜Ⅰ

グローバル社会で活躍可能な人材を広く求めます。第1次選抜では、調査書、志望理由書、自己PR書に基づき、グローバル・スタディーズコースでの学修に対する入学志願者の適性や意欲、さらに本人の目的意識等について多面的に評価します。第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、小論文（日本語で作成します。）と面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

### 教育学部

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする総合大学である山形大学の教育学部として、以下に示す人材の養成を目的とします。

- ・幅広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、独創性と柔軟性を持って山形県をはじめとする東北地方の各地域や学校における教育活動が直面する諸課題に取り組むことができる人材

- ・学校・家庭・地域の連携，地域社会のウェルビーイング増進についての基本的知識技能を持って学校教育に貢献できる実践的な人材
- 教育学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

### ◆求める学生像（3つのC）

- Challenge： 広い視野に立って，新しいことに挑戦しようとする意欲のある人
- Cooperation： 課題に積極的に取り組む行動力，他者を受け入れる包容力，社会性とコミュニケーション能力を備えている人
- Contribution： 今日の社会課題とその課題解決に強い関心があり，地域の発展に貢献できる教員になる意欲・情熱を持っている人

### ◆入学者選抜の基本方針

教育学部は，教育を中心とする地域の諸課題及びウェルビーイング増進に資する諸科学について学び，広い視野と探究心，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持って地域の教育に取り組み，多様な人々が互いに尊重し学び合うことができるコミュニティを創生することに貢献できる教員になる意欲を持った人を受け入れます。

以上のような観点から，教育学部の各コースでは，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

## 学校教育教員養成課程

### （中学校教員養成コース）

本コースでは，高等学校までの基礎的な学力を身に付けて，多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち，今日の社会の要請に応える高度な専門性を有した上で，地域社会のウェルビーイングを増進させることができる中学校・高等学校教員を目指す人を受け入れます。また，中等教育に加えて，小学校と中学校の連携・接続についての知識を持つ教員や，障害のある子供への適切な指導を行うことができる教員になることを希望する人を受け入れます。

### ◆求める学生像

- ・中学校（国語・社会・音楽・美術・保健体育・英語），高等学校（国語・地理歴史・公民・音楽・美術・保健体育・英語）教員を目指す人
- ・複数の教員免許取得を目指す人
- ・基礎的な学力と探究心を備えている人
- ・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
- ・子供を受け止められる包容力や寛容な心，他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

### ◆入学者選抜方法

#### 総合型選抜Ⅰ

美術，音楽又は保健体育の教員を目指す人を対象とします。

第1次選抜では，書類選抜により，①基礎的な学力及び思考力・表現力，②高等学校時代の課外活動の記録，③教員になることへの強い意欲，④新たな課題に挑戦しようとする意欲等を総合的に評価します。

第2次選抜では，面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・保健体育から1つを選択します。）により，①思考力・判断力・表現力，②教員になることへの強い意欲，③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，④基礎的な実技能力等を総合的に評価します。

#### 総合型選抜Ⅲ

確かな基礎学力を有し，美術，音楽又は保健体育の教員を目指す人を対象とします。美術，音楽，スポーツの各分野における実技能力や教員としての資質・適性・将来性と，確かな基礎学力とのバランスを重視した選考を行います。

第1次選抜では，書類選抜により，①基礎的な学力及び思考力・表現力，②高等学校時代の課外活動の記録，③教員になることへの強い意欲，④新たな課題に挑戦しようとする意欲等を総合的に評価します。

第2次選抜では，面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・保健体育から1つを選択します。）により，①思考力・判断力・表現力，②教員になることへの強い意欲，③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，④基礎的な実技能力等を総合的に評価します。

上記に加え，確かな基礎学力を評価するために大学入学共通テスト（3教科3科目）を課し，①面接（口頭試問を含みます。），②実技検査，③大学入学共通テストを総合して合否を判定します。

# 理学部

理学部は、自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ、理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て、分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後、独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

## ◆求める学生像（3つのC）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力、論理的思考力及び主体的学習力を持ち、次の3要素（3つのC）を備えていること。

- Challenge： 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち、真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人
- Cooperation： 高い倫理観と協調性を持ち、身に付けた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人
- Contribution： 人間社会の抱える問題を認識し、その解決に向けて、理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲を持つ人

## ◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて、総合型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅰにより選抜を実施します。

### 理学科

独創性と柔軟性を持ち、様々な分野で貢献できる人材として育成するために、1年次には理学の基礎科目を広く学び、理学諸分野の専門的知識の基礎を築きます。その上で、2年次以降に専門分野が体系的に学べる6つのコースカリキュラム（データサイエンス、数学、物理学、化学、生物学、地球科学）から1つを選択します。また、目指す将来像に応じて各種プログラムを選択し、必要なスキルを伸ばすことができます。

こうしたカリキュラムの中で、社会生活における広い視野・コミュニケーション能力・健全な批判精神を醸成し、理学分野の基礎的教育を行います。また専門分野の修得のみならず、専門分野以外の学問領域を含む学際的知識・研究スキル、さらには国際交流や地域社会との連携に関する教育を行い、様々な分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

## ◆入学者選抜方法

### 総合型選抜Ⅰ

理学科で学ぶことに強い意欲を持つ者に対して選抜を行います。

第1次選抜では、これまでの学修状況及び自分の考えを適切に表現できるか、を評価するため、調査書、エントリーシート及び探究活動レポートを総合して可否を判定します。

第2次選抜では、基礎学力、自主的な学習意欲、自己表現力、チャレンジ精神を評価するため、選抜区分ごとに定めた科目等（数学：面接（口頭試問を含みます。）、物理学：面接（口頭試問を含みます。）、化学：プレゼンテーション（受験者相互による質疑応答を含みます。）、レポート、生物学：小論文、面接（プレゼンテーション及び口頭試問を含みます。）、地球科学：面接（作業※及びプレゼンテーションを含みます。）※標本観察、読図等）により、可否を判定します。

# 工学部

山形大学工学部は、人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし、現在でも高分子（プラスチック）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国

の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは、昼間コースに高分子・有機材料工学科，化学・バイオ工学科，情報・エレクトロニクス学科，機械システム工学科，建築・デザイン学科，フレックスコースにシステム創成工学科の合わせて6学科及び工業数学・物理学担当の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して，21世紀の社会と産業の変革に呼应し，「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ，研究活動を活発化して，科学技術の高度化，産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では，これらの目標達成のため，上記5学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと，今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として，夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で，米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実施等，大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像（3つのC）

Challenge：自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲にあふれ，身のまわりのいろいろなことに好奇心を持って新しいものを創ること，工夫することに情熱を持って取り組める人

Cooperation：他人への思いやりの心と健全な倫理観を持ち，社会の中での協調性を保ちながら，自ら考えて決断し行動できる人

Contribution：広く社会に目を向け，工学を通して社会に貢献したい人

#### ◆入学者選抜の基本方針

工学部は，このような入学者を幅広く受け入れるため，大学入学共通テストを1次試験とする一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて，総合型選抜Ⅰ（フレックスコース），総合型選抜Ⅱ（昼間コース）及び学校推薦型選抜Ⅰ等により選抜を実施します。

以上のような観点から，各学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

#### 〔昼間コース〕

##### 高分子・有機材料工学科

高分子・有機材料は，金属，セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており，電子・情報産業から，エネルギー，環境，自動車，航空，宇宙産業，さらには医療・福祉産業に至るまで，我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では，健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて，高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し，技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し，それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者，技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・高分子・有機材料，自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲と吸収力にあふれ，何事に対しても好奇心と情熱を持ってチャレンジできる人
- ・コミュニケーション能力を有し，他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち，社会の中で協調性を保ちながら，自ら考え決断・行動し，成長し続けられる人
- ・広く社会に目を向け，高分子・有機材料工学の技術を通して，強く社会に貢献したい人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また，幅広い視野を涵養するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民，情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

## 化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は、環境、エネルギー、食糧、医療に代表される21世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために、その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い、様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 勉学や科学技術に対する意欲にあふれ、何事にも積極的に取り組める人
- ・ 社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
- ・ 応用化学、化学工学、バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、生物等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

## 情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は、“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワーク等のソフトウェア分野と、エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として、希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに、実践的な実習・演習を通じて、社会のニーズに応えられる専門知識を習得し、新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 情報科学や電気・電子通信工学を通して、次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し、学習意欲と協調性がある人
- ・ テクノロジーの基礎となる数学、物理、英語を積極的に学習できる人
- ・ 新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

## 機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の知識を基礎として、技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、独創性と創造性に富んだ技術開発を通して、地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車、航空機、船舶、精密機器、ロボット、エネルギー変換等の従来からの機械工学の基幹分野はもとより、生体工学、医用工学、知能工学等を含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 新しいことに挑戦し、地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
- ・ 技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、何をなすべきかを真剣に考える人
- ・ ものづくりが好きで機械に興味があり、機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために、高等学校等の教育課程においては数学、物理、化学、外国語（英語）等の基礎学力を十分に身に付けていることを求めます。また、幅広い視野を涵養するため、国語、地理歴史・公民、情報等の教科・科目の習得も同時に重要です。

#### 建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は、建築・デザインに関する分野における活動を通して、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わり、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。

建築設計、都市計画、建築史、構造工学、建築環境、工業デザイン等、建築・デザインに関わる学問分野を中心に、他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。

建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
- ・ 積極的に地域と関わり、地域社会の発展に貢献できる人
- ・ 世界を見据えつつ、地域で実践する意欲のある人

### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、地学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

#### 総合型選抜Ⅱ（全学科共通）

工学部昼間コースにおいて、総合型選抜Ⅱを実施します。

なお、この総合型選抜Ⅱの募集人員には、山形県内高校等の受験者を対象とした募集人員を含みます。

### ◆求める学生像

- ・ 高度な知識と技術を習得し、山形県内又はそれぞれの生まれ育った地域や地方において、産業の発展に貢献することを強く望む人

### ◆入学者選抜方法

第1次選抜では、レポートにより、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価し、調査書、志望理由書及び自己PR書と併せて総合して合否を判定します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）を行い、受験者の意欲、積極性、基礎学力を基準に評価し、合否を判定します。

#### 〔フレックスコース〕

#### システム創成工学科

システム創成工学科は、1年次から4年次まで米沢キャンパスで講義、実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は、工学の基礎（数学、物理、化学、情報・知能科学の基礎）を学んだ上で、1年次後期に決定し、2年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していく教育カリキュラムとなっています。また、システム創成工学科では、一人一人の学生が、基礎学力や専門知識をうまく活用し、社会人として活躍していく上で必要となる基礎的能力を養成するために、地元自治体や他大学と連携し、大学のキャンパス内では収まらない授業も展開しています。

さらに、このフレックスコースには下記のような特長があります。

- (1) 入学科・授業料が昼間コースの半額
- (2) 数学・物理等の基礎科目については少人数制教育を実施
- (3) 1年次から審査を経て研究室レベルの実践教育を実施
- (4) 社会人の生涯学習の場としての機能も備え、夜間開講科目のみの履修でも4年間で卒業可能システム創成工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・最先端のものづくり産業で活躍することで、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・工学への強い興味を持ち、自己研鑽に励むことで、自らを高めようという意欲のある人
- ・柔軟な広い視野を備え、新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
- ・将来、ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
- ・数学・物理・語学等の基礎学力をバランス良く持っている人
- ・学業以外の部活動やボランティア活動等に積極的に参加している人
- ・バイタリティにあふれ、科学技術の分野で夢や希望を持っている人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

現在、大学の理工系学部における入学者は女子が少ない状況にあります。このような状況に対して、本学科は、女性の研究者やエンジニアを育成し、社会に多様性をもたらすことで、従来にはない目線で社会課題解決、価値創造に貢献するために一般枠に加え、女子枠の入試を実施します。

同選抜では多様な観点から社会システムや専門分野の知識や技能を理解することで創造性を高め、社会的な課題を多面的に解決できる人材を育成するための入試を実施します。

#### 総合型選抜 I

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により評価し、これらを総合して可否を判定します。

第2次選抜では、入学志願者本人に30分程度直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、数学、理科（「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」から1科目選択）及び英語（出題範囲：数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、英語（英文の基礎力（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ）））に関する基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力等を総合して評価し、可否を判定します。

## 農学部

農学部は、日本有数の穀倉地帯であるとともに、豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、農学、生命科学、フィールドサイエンス等を学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センター（FSC）からなり、全学組織の山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）及び山形大学農山村リジェネレーション共創研究センターにおいても中心的役割を担っています。これらの組織をとおして、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、活発な教育・研究を進めています。また、大学院修士課程や博士課程に進学して、学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像（3つのC）

- Challenge： 知的好奇心が旺盛で、自ら課題を発見し、その解決に向かって行動できる人
- Cooperation： 自然と人間を愛し、人との出会いを通じて学びあいたい人
- Contribution： 人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題等に関心を持ち、地域社会及び世界に貢献したい人

## ◆入学者選抜の基本方針

農学部は、1学科3コース制を導入しており、入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅰがあります。

### 食料生命環境学科

食料生命環境学科は、1年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤共通教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して、2年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い、3コースのいずれかに配属となります。2年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。さらに、3年次からは、専門分野のより高度な知識の習得を目指す基幹プログラム、地域のリーダーを目指す地域創生プログラム及び国際的感覚を身に付けることを目指す国際展開プログラムの3つから選択し、将来を見据えた履修プログラムで教育・研究を行います。各コースの概要は、次のとおりです。

#### 【アグリサイエンスコース】

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成します。

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学び、さらに、限られた資源（物的資源、人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。

#### 【バイオサイエンスコース】

生命科学、食品科学等に関わる現場で活躍できる人材を育成します。

植物や、微生物、高等動物等多様な生物を対象とし、これらが持つ生理機能の解明、有用機能の探索・改良等、広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。

#### 【エコサイエンスコース】

森・水・土を知り、地域・地球環境の問題を解決できる人材を育成します。

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが産み出す恵みを楽しみながら、将来に渡り持続可能な形で管理、保全するための理論や技術を学びます。

## ◆求める学生像

- ・自然に学び、自然について深く考えることのできる人
- ・人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題等の解決、生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち、行動できる人
- ・論理的に思考し、表現できる人
- ・基礎的な学力を幅広く身に付けている人
- ・数学、理科等の自然科学に関しては、基礎的な知識を修得するだけでなく、それを応用できる人

以上のような観点から、食料生命環境学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

## ◆入学者選抜方法

### 総合型選抜Ⅰ

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では、調査書、志望理由書、プレゼンテーション概要により、これまでの活動内容や農学部で学ぶための目的意識と修学意欲を評価し、これらを総合して可否を判定します。

第2次選抜では、面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）により、テーマに関する知識、表現力及び「広義の農学」への熱意、基礎的な学力（高等学校卒業程度）、積極性、アドミッション・ポリシーの理解度等を評価します。

## Ⅱ 入学定員・募集人員

※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員については、表紙裏に記載している「医学部医学科の入学定員及び募集人員について」をご覧ください。

学部等	学科・課程・コース	入学定員	募 集 人 員										
			一般選抜		総合型選抜					学校推薦型選抜			
			前期 日程	後期 日程	I	II	III	社会人 入 試	私 費 外 留 学 生 入 試	I	II		
人文社会科学部	人間文化コース	290	53	7	-	-	-	-	5	-	15		
	グローバル・スタディーズコース		23	-	5	-	-	-	-	9	8		
	総合法律コース 地域公共政策コース (*1) 経済・マネジメントコース		110	15	-	-	-	若干人	若干人	40	-		
	計		290	186	22	5	-	-	若干人	5	49	23	
教育学部	小学校教員養成コース	60	30	-	-	-	-	-	-	20	(*2)10		
	中学校教員養成コース	45	23	-	(*3)7	-	(*3)7	-	-	8	-		
	理数系教員養成コース	25	13	-	-	-	-	-	-	7	(*2)5		
	心理支援系教員養成コース	15	8	-	-	-	-	-	-	7	-		
計	145	74	-	7	-	7	-	-	42	15			
理学部	理学科	210	125	25	(*4)20	-	-	-	5	(*4)35	-		
	計	210	125	25	20	-	-	-	5	35	-		
医学部	医学科	*105	65	-	-	-	-	-	若干人	-	一般枠:地域枠 (*5)30: (*5)10		
	看護学科	60	35	5	-	-	-	-	若干人	-	20		
	計	165	100	5	-	-	-	-	若干人	-	60		
工学部	高分子・有機材料工学科	140	83	10	-	7(3)	-	-	-	35	-		
	化学・バイオ 工 学 科	応用化学・化学工学コース	140	82	41	7	-	5(2)	-	-	15	-	
		バイオ化学工学コース			41	7	-	5(2)	-	-	15	-	
	情報・エレクト ロニクス学科	情報・知能コース	150	86	43	10	-	(*6)5(2)	-	-	(*7)16	15	-
		電気・電子通信コース			43	10	-	5(2)	-	-	15	-	
	機械システム工学科	140	87	10	-	8(3)	-	-	-	32	-		
	建築・デザイン学科	30	17	5	-	3(1)	-	-	-	5	-		
	昼間コース計	600	355	59	-	38(15)	-	-	16	132	-		
	フレックス コ ー ス	システム創成工学科	50	34	5	一般枠:女子枠 (*8)3: (*8)3	-	-	若干人	-	5	-	
		フレックスコース計	50	34	5	6	-	-	若干人	-	5	-	
計	650	389	64	6	38(15)	-	若干人	16	137	-			
農学部	食料生命環境学科	165	95	20	10	-	-	-	若干人	40	-		
	計	165	95	20	10	-	-	-	若干人	40	-		
社会共創デジタル学環		30	12	3	-	-	-	-	-	15	-		
計		30	12	3	-	-	-	-	-	15	-		
合 計		1655	981	139	48	38	7	若干人	26	318	98		

- (\*1) 人文社会科学部人文社会科学科総合法律コース、地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として入学試験を行います。そのため、総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。
- (\*2) 教育学部学校教育教員養成課程小学校教員養成コース及び理数系教員養成コースの「学校推薦型選抜Ⅱ」は、卒業後に山形県内の小学校教員になることを強く希望する者を対象とした選抜を行います（山形県小学校教員希望枠）。
- (\*3) 教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コースは、次の「実技検査区分/募集人員」で選抜を行います。  
・総合型選抜Ⅰ/7人…「美術分野/1人程度、音楽分野/3人程度、保健体育分野/3人程度」  
・総合型選抜Ⅲ/7人…「美術分野/1人程度、音楽分野/3人程度、保健体育分野/3人程度」
- (\*4) 理学部理学科は、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。  
・総合型選抜Ⅰ/20人…「数学/4人」、「物理学/4人」、「化学/4人」、「生物学/4人」、「地球科学/4人」  
・学校推薦型選抜Ⅰ/35人…「数学/7人」、「物理学/7人」、「化学/7人」、「生物学/7人」、「地球科学/7人」
- (\*5) 医学部医学科「学校推薦型選抜Ⅱ」募集人員40人の内訳は、「一般枠」30人、「地域枠」10人となります。  
「一般枠」と「地域枠」を併願することはできません。
- (\*6) 工学部昼間コース「総合型選抜Ⅱ」募集人員には、山形県内高校等の受験者を対象に合否判定を行う（ ）内の人数を含みます。
- (\*7) 工学部昼間コースの「私費外国人留学生入試」は、「志願学科・コース」で選抜を行います。
- (\*8) 工学部フレックスコース「総合型選抜Ⅰ」募集人員6人の内訳は、「一般枠」3人、「女子枠」3人となります。  
「一般枠」と「女子枠」を併願することはできません。

- (注) 1 入学定員の中には、若干人と記載のある入試の募集人員を含みます。  
2 総合型選抜（私費外国人留学生入試（人文社会科学部人文社会科学科人間文化コース、理学部理学科及び工学部昼間コースのみ）を含む。）及び学校推薦型選抜において、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。  
3 工学部の「昼間コース」は、昼間に授業を行う課程であり、「フレックスコース」は、主として夜間に授業を行います。昼間の授業の履修も可能な課程です。

次の学部では、一般選抜前期日程試験において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置します。  
工学部昼間コース（建築・デザイン学科を除く）及びフレックスコース：名古屋（JR名古屋駅付近）  
農学部：山形市（山形大学小川キャンパス内）  
また、人文社会科学部人文社会科学科人間文化コースでは、私費外国人留学生入試において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置する予定です。  
モンゴル国ウランバートル市内

### Ⅲ 山形大学総合型選抜の定義

山形大学総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、選抜方法の違いにより分かれており、それぞれの定義については、以下のとおりです。

#### 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）

第1次選抜（出願書類等による選抜）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して実施する小論文・面接・実技検査等による選抜）により合否を判定する入学者選抜方法です。

#### 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）

第1次選抜（独自試験（レポート等）及び出願書類等による選抜）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して実施する小論文・面接・実技検査等による選抜）により合否を判定する入学者選抜方法です。

#### 総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）

書類選抜、小論文・面接・実技検査等及び大学入学共通テストの成績により合否を判定する入学者選抜方法です。

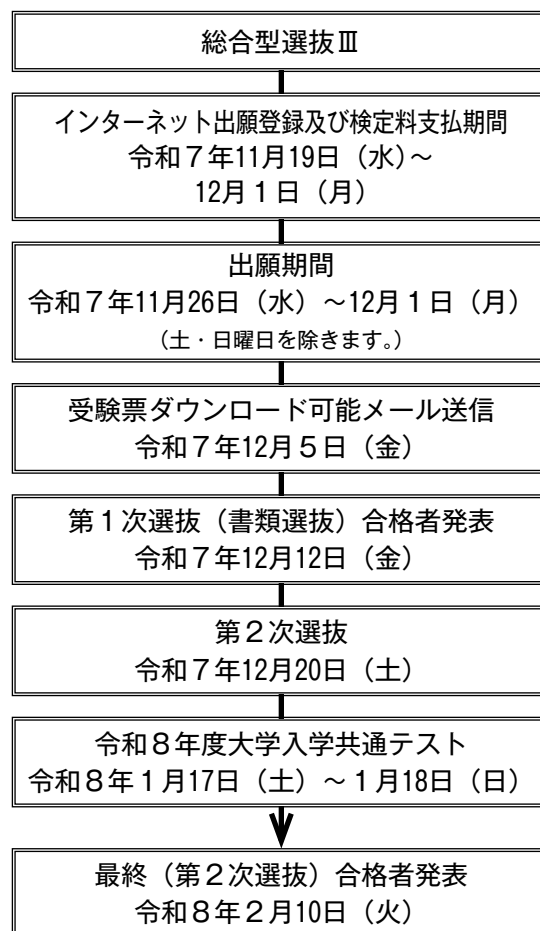
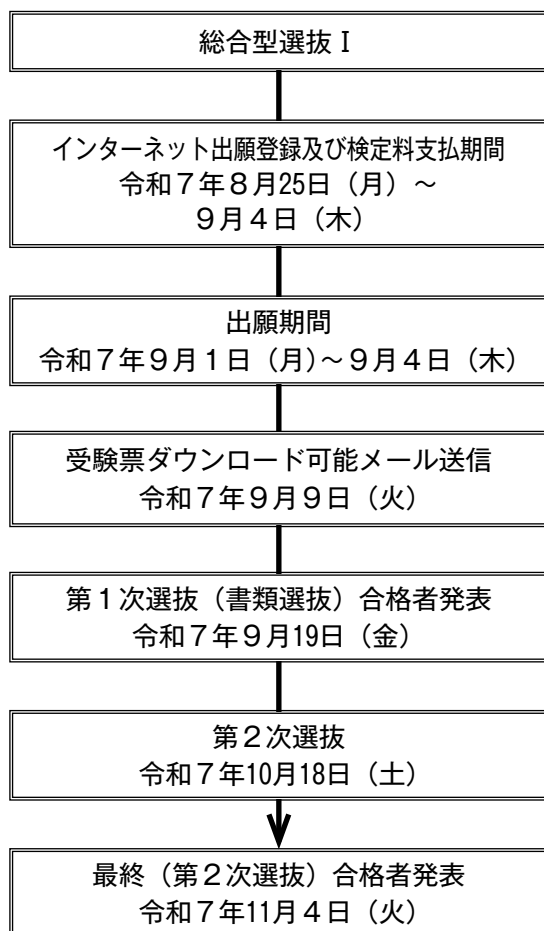
また、上記選抜方法の他、「社会人入試」及び「私費外国人留学生入試」も実施します。  
詳細は、8月頃公表予定の各募集要項をご確認ください。

### Ⅳ 総合型選抜日程表

#### ●人文社会科学部



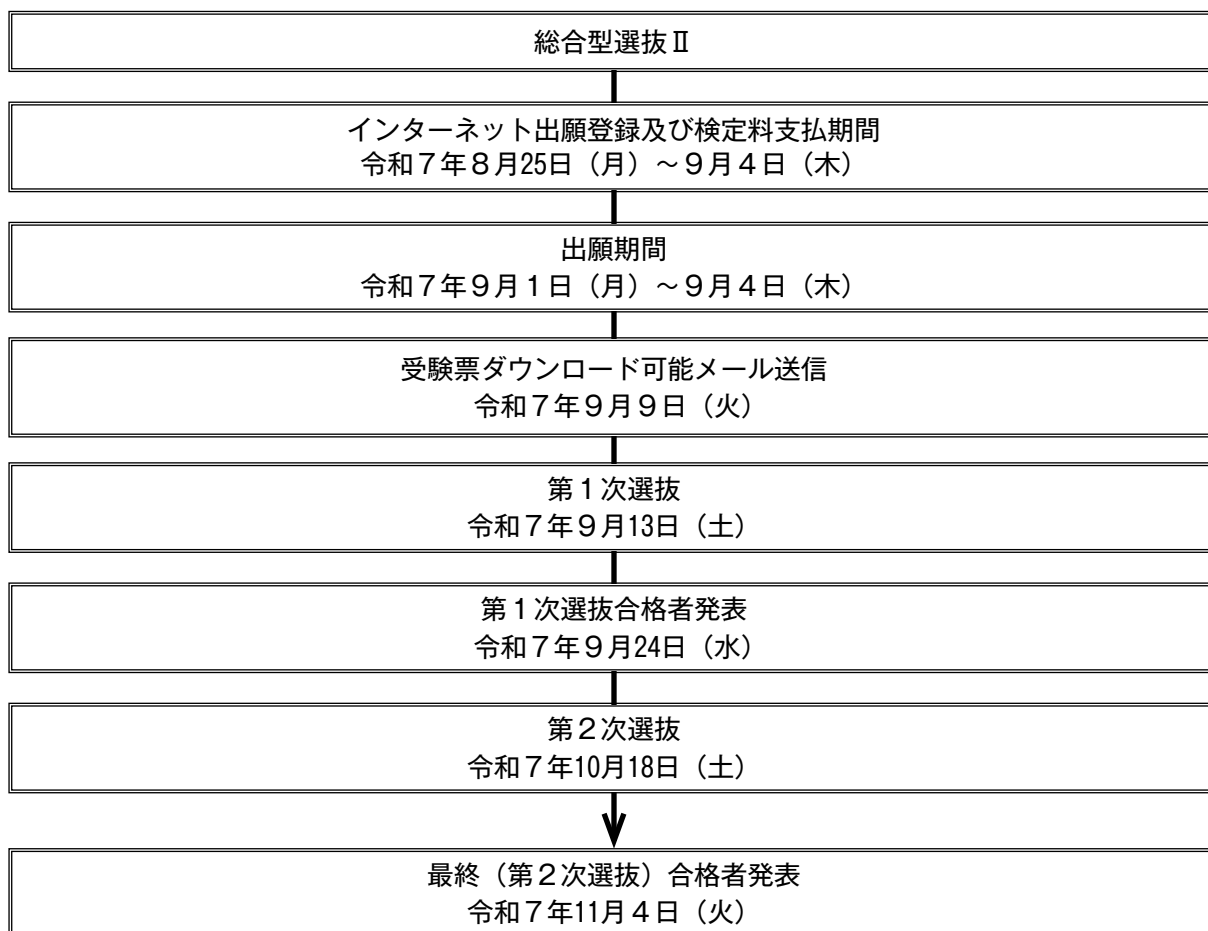
●教育学部



●理学部



●工学部昼間コース



●工学部フレックスコース



●農学部



## V 総合型選抜共通事項

### 1 総合型選抜（社会人入試及び私費外国人留学生入試を除く。以下同じ。）に係る留意事項について

- (1) 一つの国公立大学に入学手続を完了した場合は、それ以後にこれを取り消して他の国公立大学へ入学手続を行うことはできません。
- (2) 本学の総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱに出願した者が総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱに不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部的一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜に出願することができます。  
なお、一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜に出願する場合は、所定の手続により出願しなければなりません。
- (3) 教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コースの総合型選抜Ⅲに出願した者が総合型選抜Ⅲの第1次選抜に合格した場合は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）には出願できません。  
なお、本学の総合型選抜Ⅲに出願した者は、不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部的一般選抜に出願することができます。  
また、一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する場合は、所定の手続きにより出願しなければなりません。
- (4) 総合型選抜入学志願者は、志願する学科等で課す小論文・面接・実技検査等及び大学入学共通テスト（総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）に限る。）を全て受験しなければ失格となります。
- (5) 総合型選抜の合格者は、特別の事情がある場合を除き、入学を辞退することはできません。  
ただし、特別の事情があり、やむを得ず入学を辞退する場合は、所定の期日までに「入学辞退願」（合格学部・学科等名、大学受験番号及び入学を辞退する特別な理由を記載した上で、本人が署名・押印したもの（様式任意）。）を提出し、許可を得てください。
- (6) 総合型選抜の合格者は、所定の期日までに入学手続を行わなければなりません。  
なお、入学手続を完了した者は、前記（5）で示した入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部が実施する入学者選抜試験を受験しても合格者とはなりません。
- (7) 総合型選抜の合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を消失し、なおかつ前記（5）で示した入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部が実施する入学者選抜試験を受験しても合格者とはなりませんので、十分注意してください。
- (8) 国公立大学的一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、山形大学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限って、総合型選抜の合格者及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。  
また、本学は、入学試験に関する個人情報を次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
  - ① 入学者選抜試験実施のため
  - ② 入学手続業務のため
  - ③ 入試統計調査のため
  - ④ 就学上必要な本学での業務のため
  - ⑤ その他大学として必要な業務のため

## 2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する場合、事前に相談することにより、配慮される場合があります。配慮を希望する者は、申請期限までに、以下の担当に電話連絡の上、所定の申請書に医師の診断書等を添えて提出してください。対応内容の検討に時間を要する場合がありますため、出願を検討している場合は、早めに相談してください。

なお、申請期限後に発生したやむを得ない事情により配慮を希望する必要が生じた場合は、申請期限後であっても申請を受け付ける場合がありますので、該当する場合はできるだけ早めに相談してください（学内で検討し申請をお断りする場合があります。）。

### 【申請期限】

総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱ…令和7年8月7日（木）まで（土・日曜日、祝日を除きます。）

総合型選抜Ⅲ…令和7年11月5日（水）まで（土・日曜日、祝日、8月12日～15日及び10月15日を除きます。）

### 【担当】

エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL (023)628-4141

また、事前相談は病気・負傷や障害等のある入学志願者が安心して受験に臨み、入学後スムーズに修学できるようにするためのものであり、相談内容によって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

提出書類等の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

区 分	対 象 と な る 者
① 視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字による教育を受けている者</li> <li>・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>・視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
② 聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者</li> <li>・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
③ 肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者</li> <li>・両上肢の機能障害が著しい者</li> <li>・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者</li> </ul>
⑤ 発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習障害、注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者</li> </ul>
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者</li> </ul>

※試験時間中、机の上に置けるもの（68ページ「Ⅸ 受験者心得」参照）以外のものを病気・負傷や障害等により使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

## 3 入学試験情報開示について

### (1) 開示請求受付期間

令和8年5月1日～5月31日（消印有効）

受付時間は、9時から16時30分までとします（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日を除きます。）。

### (2) 請 求 者 受験者本人に限ります（代理人による請求は認めません。）。

### (3) 請 求 方 法 受験した学部の担当部署（次ページ参照）の窓口への持参又は郵送により受け付けます。

次の①～③により申し込んでください。

なお、郵送による申込の場合は、受験した学部の担当部署宛ての封筒の表に「〇〇学部入試成績開示申込み」と朱書きしてください。

- ①令和8年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書  
 ※申込書は、令和8年4月中旬以降、山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」からダウンロードしてください。
- ②本学受験票（写しは不可）  
 ※内容を確認後、窓口申込時若しくは成績返送時に返却します。
- ③返信用封筒（長形3号（23.5cm×12cm）に460円分の切手をはり、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）
- (4) 開示方法 請求のあった日の翌日以降2週間以内を目途に、郵送（簡易書留）により開示します。ただし、請求状況によっては、時間を要する場合がありますので、ご了承願います。

#### 4 総合型選抜に関するお問合せについて

総合型選抜に関する事務は、各学部担当部署で取り扱います。不明な点があれば、電話又は郵送にてお問合せください。なお、郵送による場合は、必要事項（送付先郵便番号・住所・氏名）を記載した返信用封筒（所要切手添付）を同封してください（お問合せ先は、以下の「5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について」を参照してください）。

#### 5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について

出願書類は志願学部の担当部署（以下参照）に提出してください。

- (注) 1 出願書類については、志願学部に係る「出願書類及び出願手続」の項を参照してください。  
 2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。  
 3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	人文社会科学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023)628-4207
教育学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023)628-4310
理学部に関すること	理学部入試担当		(023)628-4710
工学部に関すること	工学部入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農学部入試担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

(注) お問合せは、8:30~17:00（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月12日～8月15日、10月15日及び12月29日～1月3日を除く。）の時間帯でお願いします。

#### 6 出願方法等について

- (1) 出願期間等

##### 【総合型選抜Ⅰ】

学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送（書留速達）)
人文社会科学部 教育学部 理学部 工学部フレックスコース 農学部	令和7年8月25日（月）9時 ～9月4日（木）16時30分	令和7年9月1日（月）～9月4日（木）16時30分【必着】

※持参の場合、出願期間中の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

### 【総合型選抜Ⅱ】

学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送(書留速達))
工学部昼間コース	令和7年8月25日(月)9時 ～9月4日(木)16時30分	令和7年9月1日(月)～9月4日(木)16時30分【必着】

※持参の場合、出願期間中の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

### 【総合型選抜Ⅲ】

学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送(書留速達))
教 育 学 部	令和7年11月19日(水)9時 ～12月1日(月)16時30分	令和7年11月26日(水)～12月1日(月)16時30分【必着】

※持参の場合、出願期間中(土・日曜日を除きます。)の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

### (2) 出願方法

インターネット出願サイトで出願登録を行い、出願書類等を出願期間内に本学に届くように郵送(書留速達)又は持参してください。

出願手続きの手順は以下の通りです。

STEP 1	事前準備	24ページの「(5) 事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
↓		
STEP 2	インターネット出願サイトにアクセス	本学ホームページからインターネット出願サイトにアクセスしてください。 ( <a href="https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/internetapplication">https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/internetapplication</a> )
↓		
STEP 3	マイページ登録	画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
↓		
STEP 4	出願内容の登録	インターネット出願サイトの指示に従い、必要な情報を入力してください。 <b>登録完了すると、登録した情報は変更できなくなりますので、登録する前に必ず内容の確認をしてから登録してください。</b>
↓		
STEP 5	検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください。
↓		

STEP 6	出願書類等の印刷と郵送 又は持参	インターネット出願サイトから出願書類等を <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> し、他の全ての出願書類等と併せて出願期間内に本学に届くように、 <b>郵送（書留速達）又は持参</b> してください。
--------	---------------------	--



STEP 7	受験票の印刷	<p>出願が受理された方は、インターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。（ダウンロード可能期日は本要項 14 ページから 17 ページ「受験票ダウンロード可能メール送信」欄参照）出願時に登録したメールアドレスへメールでお知らせしますので、インターネット出願サイトにログインし、入学志願者が各自 <b>A4タテ片面でカラー印刷</b>して、<b>必ず試験当日に持参してください。</b></p> <p>（注）1 ダウンロード可能期日（14ページから17ページ参照）にメールが届かない場合や、ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合は、志願学部の担当部署（20ページ参照）へ連絡してください。</p> <p>2 「山形大学入学試験受験票」は、切り取り線に沿って切り取り、持参してください。</p> <p>3 「山形大学入学試験受験票」は入学手続き及び入学試験情報開示（19ページ参照）の際に必要なになりますので、大切に保管してください。</p> <p>4 かすれ等があり、鮮明でない場合は再度印刷し、鮮明なものとなるようにしてください。印刷物に手書きで加工する行為はおやめください。</p>
--------	--------	--

（注）出願書類や受験票は、それぞれ指定の方法で印刷してください。ページの拡大／縮小は「なし」で、「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

### （3） お問合せ先

- インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関するお問合せ先  
株式会社キャリアタス「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター  
TEL 0120-202079（インターネット出願登録及び検定料支払期間中）

※上記以外の入試に関する質問について、以下のお問合せ先に連絡してください。

- 入試全般に関するお問合せ先  
山形大学エンrollment・マネジメント部入試課  
TEL (023) 628-4141  
(8:30~17:00/土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月12日~8月15日、10月15日及び12月29日~1月3日を除く。)

### （4） 検定料の支払い ※3ページ インターネット出願の流れ STEP5参照

検定料の支払いは、「STEP4 出願内容の登録」完了後に行います。出願登録完了後に送信される「検定料支払手続きの案内メール」に記載されている、検定料の支払期間内に支払ってください。

なお、出願登録完了後に以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

- ① 出願登録完了画面から引き続き、「引き続き支払う」をクリックする。
- ② インターネット出願サイトにログインして、「支払い」をクリックする。

検 定 料	支 払 期 間
17,000円 (工学部フレックスコース 入学志願者は、10,000円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20ページから21ページ「(1) 出願期間等」で該当する箇所を確認してください。</li> <li>・支払期間について、インターネット出願登録を完了した日から出願期間の最終日16時30分までに支払ってください。それ以降の支払いはできません。</li> </ul>

※検定料の支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

支 払 方 法	取 扱 機 関 等
クレジットカード (出願登録に引き続き支払完了)	VISA / Master / JCB / AMERICAN EXPRESS / MUFG カード / DC カード / UFJ カード / NICOS カード
ネットバンキング (インターネットで手続き完了)	決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります。
コンビニエンスストア	セブン-イレブン / デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア / セイコーマート (店頭レジにて支払う。) ローソン、ミニストップ (Loppi) / ファミリーマート (マルチコピー機) (各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し、支払う。)
郵便局・銀行 ATM (ATMの画面表示に従って必要情報を入力し、支払う。)	ペイジー対応銀行 ATM (ゆうちょ銀行も含まれます。)

#### 【検定料支払いに関する注意事項】

- 1 検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。  
引き続き、出願書類等の印刷及び提出を、期間内に必ず行ってください。なお、インターネット出願サイトからの出願書類等の印刷は、検定料支払い前にはできません。
- 2 支払手続きに関する詳細・注意点等は、インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。
- 3 支払期間を過ぎると、検定料を支払うことはできません。
- 4 支払期間内に入金がない場合、申込は自動的にキャンセルになります。
- 5 インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料の支払い前に出願登録内容の誤りに気づいた場合は、検定料を納付せずに、再度「STEP 4 出願内容の登録」からやり直してください (誤った登録データは、支払期間中に検定料が支払われなければ、自動的にキャンセル扱いとなり削除されます。)  
検定料支払い後に出願登録内容の誤りに気づいた場合は、志願学部の担当部署 (20ページ参照) に連絡してください。
- 6 クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、入学志願者本人でなくても構いません。

#### 【検定料の返還等について】

- 1 総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅲ第1次選抜の不合格者には、検定料17,000円のうち13,000円 (工学部フレックスコースについては、10,000円のうち7,800円) を返還します。返還手続の詳細については、本学ホームページで確認してください。
- 2 既に払い込んだ検定料は、上記1及び次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
  - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合 (出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合)
  - ② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

- 3 返還についてのお問合せは、志願学部を担当部署（20ページ参照）にお願いします。  
 なお、申出期限は令和8年3月31日（火）まで【必着】とします。
- 4 本学では、東日本大震災、令和6年能登半島地震及び令和7年4月以降に発生した自然災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和8年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を講じます。詳細は、本要項の目次の下及び、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

(5) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕を持って確認及び準備をしてください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p>パソコン利用時推奨環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Microsoft Edge 最新版</li> <li>・ Google Chrome 最新版</li> <li>・ Mozilla Firefox 最新版</li> <li>・ Apple Safari 最新版</li> </ul> <p>スマートフォン・タブレット利用時推奨環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iOS 12 以上</li> <li>・ Android 8 以上</li> <li>・ iPadOS 13 以上</li> </ul> <p>※各OSの標準ブラウザ最新版が推奨環境になります。          ※ブラウザの複数タブでの同時操作はお控えください。          ※ブラウザの「戻る」「進む」ボタン、スマートフォンのスワイプは使用しないでください。前後の画面へ移動する際は、必ず画面内に表示されているボタンを押してください。          ※表示が崩れたり上手く動作しないときは他のブラウザを使用してください。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信の設定をされている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p style="text-align: center;"><b>@ e-apply.jp</b></p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下のメールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①マイページ登録時のテストメール</li> <li>②出願登録情報の入力後の自動送信メール</li> <li>③検定料支払い完了時の自動送信メール</li> <li>④受験票がダウンロード可能になった際の通知メール</li> <li>⑤入学手続全般に係る各種メール</li> </ol> <p>※試験終了又は入学するまでメールアドレスは変更しないでください。</p>
入学志願者本人の顔写真（データ）の準備	<p>出願登録に当たって、顔写真データ（ファイル種類（jpeg, png, bmp, gif）、最大10MBまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、<u>背景無し</u>のカラー写真データを準備してください。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p><b>【使用できない写真の例】</b>          不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかる等で本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>プリントされた写真を再撮影しているもの</u>等。</p>

<p>その他出願に必要な書類の用意</p>	<p>高等学校等が発行する「調査書」、大学入学共通テスト出願サイトのマイページから取得した「令和8年度共通テスト成績請求チケット（総合型選抜Ⅲのみ）」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください（各選抜の「学部別募集要項細目」の「5 出願書類及び出願手続」参照）。出願に必要な書類を山形大学ホームページからあらかじめダウンロードし、印刷・記入してください。</p>
<p>角形2号封筒の用意</p>	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。</p>
<p>様式印刷の用意（プリンタ、用紙等）</p>	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、<b>A4タテ片面でカラー印刷</b>する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません（個人情報の取扱いには十分注意してください）。</p>

## VI 総合型選抜 I (大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

### 学部別募集要項細目

#### 【人文社会科学部】

##### 1 募集人員

	学科・コース名	募集人員
人文社会科学科	グローバル・スタディーズコース	5人

##### 2 趣旨

グローバル・スタディーズコースでは、外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。グローバル・スタディーズコースの求める学生像は、以下のとおりです。

- ① 国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人
- ② 留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人
- ③ 基礎的な英語力を身に付けており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身に付ける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人

グローバル・スタディーズコースでは、上の①～③に該当する学生を募集するために、総合型選抜を実施します。この入試の目的は、従来の入学試験では必ずしも適切に判定できないような資質や能力等を評価することによって、グローバル社会で活躍可能な人材を広く求めることにあります。

この総合型選抜の第1次選抜は書類選抜、第2次選抜は小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）となります。

第1次選抜では、調査書等、志望理由書及び自己PR書に基づき、グローバル・スタディーズコースでの学修に対する入学志願者の適性や意欲、さらに本人の目的意識等について、多面的に審査します。

第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）を実施します。まず、事前に英文記事の読解を義務付けた上で、試験当日には、上記の英文に関する小論文（具体的な課題は当日に与えます。）を課し、さらに面接を行い、総合的に可否を判定します。面接では口頭試問に加えて、（1）国際社会やグローバル化や異文化理解についての関心、本学部グローバル・スタディーズコースで学ぼうとする意欲、（2）留学等の海外体験への関心、（3）外国語教育への関心、の3つについて問い、併せて、卒業後の進路計画に関する質疑応答を行います。

##### 3 出願資格・出願要件

次の（1）から（3）のすべての資格・要件を満たす者とします。

- （1） 次のいずれかに該当する者
  - ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
  - ② 高等学校又は中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者
  - ③ 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
  - ④ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
  - ⑤ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- （2） 本学部グローバル・スタディーズコースで学ぶための適性と強い意欲を持つ者
- （3） 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜 I 及び本学の総合型選抜 II には同時に出願することができません。

（注） 1 学校教育法施行規則第150条第7号（個別の入学資格審査）の規定により本学の入学資格の認定を受けようとする者は、エンロールメント・マネジメント部入試課（TEL（023）628-4141）に連絡してください。

なお、個別の入学資格審査の受付期限は、令和7年8月5日（火）までとなっておりますが、審査等に時間を要しますので、できるだけ早めに連絡してください。

個別の入学資格審査の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

- 2 出願資格について、不明な点がある場合は、人文社会科学部入試担当（TEL（023）628－4207）までお問合せください。

#### 4 出願期間等

(1) 出願期間

令和7年9月1日（月）から9月4日（木）まで

※持参・郵送ともに9月4日（木）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注）出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

(2) 出願書類の提出先

人文社会科学部入試担当（20ページ参照）に提出してください。

#### 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A4タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日（火）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>	
調査書等 (外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を必ず添付してください。)	<p>1 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業（見込み）者</p>	<p>調査書（出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。） 注(1) 卒業後、一定の期間を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合、以下3通の証明書等を提出してください。 ① 「卒業証明書」※1 ② 「成績証明書」（又は「単位修得証明書」）※2 ③ 出身学校が発行する調査書を発行できない旨記載の「理由書」（様式任意） ※1 「卒業証明書」が発行されない場合は、出身学校が発行する卒業証明書を発行できない旨記載の「理由書」（様式任意）を提出してください。 ※2 「成績証明書」及び「単位修得証明書」のどちらも発行されない場合は、出身学校が発行する成績証明書及び単位修得証明書を発行できない旨記載の「理由書」（様式任意）を提出してください。 注(2) 出身学校が被災等の理由によって調査書の提出ができない場合は、これにかわる機関の証明をもって調査書に代えることができます。</p>

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
<p>調査書等 (外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を必ず添付してください。)</p>	2 高等専門学校第3学年修了(見込み)者	<p>文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの(出身学校長が作成し、厳封してください。)</p>
	3 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程の修了(見込み)者	
	4 高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者	<p>合格成績証明書 (免除科目がある場合は、当該科目にかかる高等学校在学期間中の調査書等を併せて提出してください。調査書が発行されない場合は、成績証明書又は単位修得証明書及び調査書を発行できない旨記載の理由書を提出してください。)</p>
	5 外国において学校教育における12年の課程の修了(見込み)者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの	<p>卒業(見込み)証明書、成績証明書</p>
	6 文部科学大臣の指定した専修学校の高等課程修了(見込み)者	
	7 WASC, CIS, NEASC, ACSI, Cognia又はCOBISの認定を受けた教育施設の12年の課程の修了(見込み)者	<p>当該教育施設が左記団体から認定を受けていることが明記された証明書、成績証明書</p>
	8 スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者	<p>資格証書の写し、成績が記載されている証明書</p>
	9 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者	
	10 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者	
	11 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者	
	12 グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(以下、「GCE Aレベル」という。)資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(以下、「インターナショナルAレベル」という。)資格を有する者	
	<p>なお、出願に必要なGCE Aレベル及びインターナショナルAレベル資格の科目数等は次のとおりです。 科目数：1科目以上 必要な科目・評価等： ・ 「英語」「数学」「言語」「社会科学」に関する科目のうち1科目を含むこと ・ 評価E以上</p>	

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
志望理由書 【人文社会科学部・ 教育学部・農学部 用】	○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面</b> で印刷し、グローバル・スタディーズコースを「志望する理由」, 「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか, 分野名とその理由」, 「卒業後どのような職業に就きたいか(現時点)」に分けて, 各事項について <b>400字</b> 以内で記入してください。
自己PR書 【人文社会科学部・ 教育学部用】	○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面</b> で印刷し, PRしたい内容を <b>1,000字</b> 以内で記入してください。PRの内容に応じて, 資格の証明書, 賞状, 探究型学習の成果物等の写しや他の参考資料を添付して提出することができます。 新型コロナウイルス感染症の影響により, 高等学校等における部活動等の諸活動や大会, 資格・検定試験等に参加できず, 実績や結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることはありませんが, 必要により, 成果獲得に向けた努力のプロセス等について記載してください。
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し, 出願書類をすべて封入し, 出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により, 提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面</b> で <b>カラー印刷</b> してください(入学願書と同時に印刷できます。)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に, はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ, その他不備がある場合は, **出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて, 漢字は楷書で書き, 数字は算用数字を用いてください。ただし, こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は, 二重線で消し, 訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は, 必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし, インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に, 正しく入力できない場合は, 入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後, 出力したものを訂正する場合は, 志願学部の担当部署(20ページ参照)に連絡の上, 指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書等，志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>調査書等，志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td>100点</td> </tr> </table>	調査書等，志望理由書及び自己PR書	100点
調査書等，志望理由書及び自己PR書			
100点			
採点・評価基準	志望理由書では，本学での修学計画と卒業後の進路の希望，そして本学部グローバル・スタディーズコースを志望する理由について評価します。		
合否判定基準	調査書等，志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので，来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して，次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和7年10月18日（土）		
時 間	小論文（10：00～12：00），面接（13：30～）		
科 目 等	小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）		
選 抜 方 法	小論文（2時間）の後，面接（30分程度）を実施します。 小論文については，第2次選抜の当日に具体的な課題が与えられます。その課題に関して，事前に指定した英文記事の内容に基づき，日本語での小論文の作成を課します。小論文試験の際には，第1次選抜の合格通知の際に郵送した英文記事の写しを配付します（先に郵送した英文記事本体を試験時間中に参照することはできません）。また，面接（口頭試問を含みます。）では出願書類を参考にしつつ，質疑応答を行います。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td>100点</td> </tr> </table>	小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）	100点
小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）			
100点			
採点・評価基準	小論文では，受験者が書いた内容について，（1）課題に対する理解の的確さ，（2）論旨の説得力，（3）日本語表現，（4）独創性といった観点から，評価を行います。また，上記とあわせて，事前に渡した英文記事に関する読解の正確さに関しても審査し，受験者が入学後の学修のために必要な基礎的英語力を有しているかを判定します。 面接（口頭試問を含みます。）では，受験者の基礎学力，志望動機，勉学や海外体験への意欲を総合的に評価します。		
合否判定基準	1 小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。		

◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については，第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年9月19日（金）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和7年11月4日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

(注) 1 合否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続書類提出期間

令和7年12月10日（水）から12月15日（月）（必着）（土・日曜日を除きます。）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和7年12月15日（月）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：282,000円

(3) 提出書類

詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和7年12月15日（月）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和8年2月18日（水）までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 【教育学部】

### 1 募集人員

課程・コース名		実技検査区分名	募集人員（計7人）
学校教育教員養成課程	中学校教員養成コース	美術分野	1人程度
		音楽分野	3人程度
		保健体育分野	3人程度

### 2 趣旨

本コースでは、高等学校までの基礎的な学力を身に付けて、多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち、今日的社会の要請に応える高度な専門性を有した上で、地域社会のウェルビーイングを増進させることができる中学校・高等学校教員を目指す人を受け入れます。また、中等教育に加えて、小学校と中学校の連携・接続についての知識を持つ教員や、障害のある子供への適切な指導を行うことができる教員になることを希望する人を受け入れます。

美術、音楽又は保健体育の教員を目指す人を対象とし、総合型選抜Ⅰを実施します。

第1次選抜では、書類選抜により、①基礎的な学力及び思考力・表現力、②高等学校時代の課外活動の記録、③教員になることへの強い意欲、④新たな課題に挑戦しようとする意欲等を総合的に評価します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・保健体育から1つを選択します。）により、①思考力・判断力・表現力、②教員になることへの強い意欲、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、④基礎的な実技能力等を総合的に評価します。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

(1) 次のいずれかに該当する者

①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者

②高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者

(2) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

### 4 出願期間等

(1) 出願期間

令和7年9月1日（月）から9月4日（木）まで

※持参・郵送ともに9月4日（木）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。




(2) 出願書類の提出先

地域教育文化学部入試担当（20ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようにします。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和 8 年 3 月 31 日（火）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>	
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>	
志望理由書 【人文社会科学部・教育学部・農学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「<b>中学校教員養成コースを志望する理由</b>」，「<b>入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由</b>」に分けて、各事項について <b>400 字</b>以内で記入してください。</li> </ul>	
自己PR書 【人文社会科学部・教育学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、PRしたい内容を <b>1,000 字</b>以内で記入してください。特に下記の①～③に該当する内容がある場合はそれについて記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校内の特別活動や部活動等での顕著な成績。</li> <li>②学校外の活動（音楽・美術の場合はコンクール、演奏活動などを含む。）における表彰、受賞歴。</li> <li>③上記①及び②に記載の活動において、入学志願者本人が成果獲得に向けて取り組んだ具体的なプロセス。</li> </ul> </li> <li>○ <u>なお、評価の対象となる活動は高等学校在学時（中等教育学校においては後期課程在学時）のみとします</u>（小・中学校時等の活動は評価の対象となりません）。</li> <li>○ 自己PR書に記入した①及び②について、<u>表彰等の実績がある場合</u>，これらを証明する以下の書類等の写しを添付してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰状（大会が地区予選・本選等にわかれている場合は、最終的な成績がわかるもののみ）</li> <li>・コンクール、発表会等に参加したことがわかるプログラム、演目等（氏名等の記載がある該当ページのみ）</li> </ul> </li> <li>※表彰状がある場合、同大会若しくは同コンクール等のプログラムを提出する必要はありません。</li> </ul>	
添付資料	以下の各分野から、 <b>いずれか 1 つ</b> を選択し、指定する資料を提出してください。	
美術分野	ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術分野における過去の作品や活動の様子等をPDFファイルにまとめたもの。必ずその中に出願前 2 年以内に入学志願者本人が制作した鉛筆による人物素描と静物素描の作品をそれぞれ 1 点ずつ含めること。 PDFファイルの 1 ページ目とファイル名に「氏名」を入力してください。 PDFファイルは、任意のオンラインストレージサービスを利用し、ダウンロードリンクのURLを出願期間内に地域教育文化学部入試担当へメールで送付してください。 地域教育文化学部入試担当メールアドレス yu-nyuiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp</li> </ul>

出 願 書 類		出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
美術 分野	学校長等の 証明書 (様式任意)	○ ポートフォリオが、入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書（学校長による証明が困難である場合、造形教室の先生等、証明できる者の証明書であれば可）	
	音楽 分野	○ 【音楽分野】で受験する場合は、【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】【作曲】のいずれか1つを選択してください。 【管弦打楽器】選択者は、38ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項」を確認してください。 ○ 受験者全員が、下記のURL又は二次元コードから演奏曲等に関する情報登録をしてください。 URL：https://forms.office.com/r/uuZxtewyJA 	
音楽の能力を 測るもの		【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】 ○ 5分以上10分以内の演奏（反復記号の省略可、複数曲可）の動画データ ○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ 第1巻, 原書番号No.52b), No.58b), No.71, No.83c), No.87b) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。 ※上記2本の動画データを提出してください。 動画データの提出方法については、下記のURL又は二次元コードから確認してください。 URL：https://www.e.yamagata-u.ac.jp/free/nyushi_outline_html 	
		【作曲】 ○ 出願前2年以内に作曲した作品1～3点の楽譜の写し ※可能であれば上記作品の演奏音源を添付してください。 ○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ 第1巻, 原書番号No.52b), No.58b), No.71, No.83c), No.87b) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。 ※動画データの提出方法については、下記のURL又は二次元コードから確認してください。 URL：https://www.e.yamagata-u.ac.jp/free/nyushi_outline_html 	
学校長等の 証明書 (様式任意)	○ 【作曲】受験者は、作品が入学志願者本人のものであることを証明する学校長等の証明書（学校長による証明が困難である場合、個人レッスンの先生等、証明できる者の証明書であれば可）		
保健体育 分野	スポーツ活動に 関する調査書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、入学志願者本人が主な競技等成績を記入したものを提出してください。ただし、競技等成績がない場合は、「競技等成績なし」欄にチェックしてください。なお、競技等成績がない場合でも、総合型選抜Ⅰ（保健体育分野）への出願は可能です。	
	競技等成績を 証明するもの	○ 「スポーツ活動に関する調査書」に記入した競技等成績（成績及び記録、試合出場状況）を客観的に証明できる資料（公式試合における本人の出場記録、公式記録あるいは大会報告書、表彰状、新聞記事事項、スポーツ専門雑誌記事事項、競技団体の機関紙の写し等）を必ず添付してください。 チームでの成績及び記録等の場合は、本人が当該チームに所属していることがわかる資料（メンバー表、大会パンフレットの名簿等）も必ず添付してください。	

出 願 書 類		出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
	保健体育分野	競技等成績を証明するもの	<p>証明資料の全ページの右上に「スポーツ活動に関する調査書」記載の該当する「証明資料番号」を記入してください。</p> <p>なお、<u>書式はA4片面（拡大・縮小可）に統一し、ステープル止めはしないでください。</u>ただし、自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は、<u>同一の書類を改めて添付する必要はありません。</u></p>
	出願書類提出用角形2号封筒		○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。
	出願書類提出用宛名シート		○ インターネット出願サイトから <u>A4タテ片面でカラー印刷</u> してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面的り付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しないこと**があります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（20ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書，志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査書，志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	調査書，志望理由書及び自己PR書	100点
調査書，志望理由書及び自己PR書			
100点			
採点・評価基準	志望理由書では，本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また，自己PR書では，記載された活動履歴やPR内容をもとに，本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。		
合 否 判 定 基 準	調査書，志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので，来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して，次のとおり第2次選抜を実施します。

なお，出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	令和7年10月18日（土）	
時 間	調整の上，決定	
科 目 等	実技検査（美術・音楽・保健体育から1つを選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）	
選 抜 方 法		
美術分野	実技検査	○ 90分以内で鉛筆による素描のテストを実施します。そのために必要な鉛筆等の画材や道具は各自で準備してください（素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。）。
	面接 （口頭試問を含みます。）	○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに，造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関すること及び自身の造形実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。 なお，ポートフォリオに含まれる作品の実物（2点以内）を準備してください。 作品は受験者本人が一人で持ち運びできる大きさのものに限ります。
音楽分野	実技検査	○ 【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は，第1次選抜で提出した動画データの楽曲を演奏してください。演奏を途中で止める，又は演奏箇所を指定する場合があります。 ○ 【声楽】受験者で，ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】受験者は，無伴奏で試験を行います。 ○ 【作曲】受験者は，機能と声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間70分）。 ○ 受験者全員に対し「コールユーブンゲン」の試験を実施します（第1巻，原書番号No.48～No.87から1曲を当日指定します。）。固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかを用いてください。

選 抜 方 法		
音楽分野	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料をもとに、音楽芸術に対する関心や、実技検査の演奏曲又は出願時に提出した作曲作品に関する事 と及び自身の音楽実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。 また、音楽の基礎力を問うため、楽典(楽語、音程、音階、調、和音等)について質問します。
保健体育分野	実技検査	○ 運動能力を評価するためのテストを実施します。実技検査の詳細に関しては、第1次選抜合格時に示します。
	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料をもとに、スポーツ、運動、身体等の知識や思考力に関する事及び自身の運動実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。
配点 (分野共通)	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)	100点
採点・評価基準		
美術分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)では、美術に関わる基礎的能力(発想力、構成力、造形表現力)と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
音楽分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)では、音楽に関わる基礎的能力(演奏能力、楽典等の知識、ソルフェージュ能力)と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
保健体育分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)では、スポーツに関わる能力(スポーツ、運動、身体等の知識や思考力、運動能力)と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
合否判定基準	1 実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。	

◎ 試験場：小白川キャンパス（山形市小白川町一丁目4-12）

第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 音楽分野受験にあたっての注意事項

### 【管弦打楽器】受験者への注意事項

管弦打楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器のいずれかでの受験が可能です。

なお、マリンバ、コントラバスで受験する場合、第2次選抜当日は本学で用意した楽器を使用させていただきます。

## 8 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年9月19日（金）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和7年11月4日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

（注）1 合否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 9 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### （1）入学手続書類提出期間

令和7年12月10日（水）から12月15日（月）（必着）（土・日曜日を除きます。）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和7年12月15日（月）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

### （2）入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：282,000円

### （3）提出書類

詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

### ※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和7年12月15日（月）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和8年2月18日（水）までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 10 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

（注）1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 11 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

総合型選抜Ⅰ（教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コース）の合格者は、「令和8年度入学者選抜要項」の25ページに示す教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コースの大学入学共通テストの利用教科・科目名等欄に記載の「6教科7科目」について解答し、自己採点結果を地域教育文化学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます。）。

なお、これは入学までの期間の勉学意欲継続のため、また、基礎学力を把握し、入学後の学習支援に活用するために行うものです。

## 【理学部】

### 1 募集人員

学 科 名	選抜区分名	募集人員
理 学 科	数 学	4 人
	物 理 学	4 人
	化 学	4 人
	生 物 学	4 人
	地 球 科 学	4 人

### 2 趣旨

理学部は、数学や自然科学の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授するため、6つのコースカリキュラム（データサイエンス、数学、物理学、化学、生物学、地球科学）を提供します。また、将来像に応じた必要なスキルを伸ばすための様々なプログラムを提供します。これらにより、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材を育成します。

総合型選抜Ⅰでは、基礎学力を備え、入学後の勉学への展望と自主的な学習意欲と自己表現力を持ち、理学部で学んだことを活かし、社会の課題解決に挑むことができるチャレンジ精神に溢れた人を求めています。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
  - ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者（(注) 1）
  - ② 高等専門学校の第3学年を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- (3) 学内外において、理学（数学・理科・データサイエンス）に関する探究活動に取り組んだ者
- (4) 出願する選抜区分において、次のすべての要件を満たす者（(注) 2）

選抜区分名	出願要件
数 学	(1) 数学又はデータサイエンスへの強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学C（理数科にあつては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者
物 理 学	(1) 物理学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 <ol style="list-style-type: none"><li>① 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学C（理数科にあつては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論）</li><li>② 理科については、物理基礎及び物理（理数科にあつては、理数物理）</li></ol>
化 学	(1) 化学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 化学基礎及び化学（理数科にあつては、理数化学）を履修した者又は履修見込みの者
生 物 学	(1) 生物学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 生物基礎及び生物（理数科にあつては、理数生物）を履修した者又は履修見込みの者
地 球 科 学	地学・地球科学への強い関心と勉学意欲を持つ者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

- (注) 1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は令和7年度中に修了見込みの者を含みます。
- 2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。

#### 4 出願期間等

(1) 出願期間

令和7年9月1日(月)から9月4日(木)まで

※持参・郵送ともに9月4日(木)まで(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(注) 出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送(書留速達)の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

(2) 出願書類の提出先

理学部入試担当(20ページ参照)に提出してください。

#### 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b> してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日(火)まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を入力してください。</li> </ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b> してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
エントリーシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b> し、入学後に取り組みたい勉強や研究について、以下の点を含めて <b>800字</b> 以内で記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後に選択するコースカリキュラムや卒業研究分野等の希望</li> <li>・それらを希望する理由(卒業後の目標・抱負等も含む)</li> </ul> </li> </ul>
探究活動レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでに取り組んだ理学(数学・理科・データサイエンス)に関する探究活動(高校の授業外で行った活動も含む)について一つ選び、以下の項目に分けてその内容を記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①課題名</li> <li>②探究活動の概要</li> <li>③探究の目的</li> <li>④用いた方法と得られた結果</li> <li>⑤考察・推論</li> </ul> </li> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから、<b>A 4 タテ両面で印刷</b> してください。 記入に当たり、パソコンで作成することができます。</li> </ul>
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。</li> </ul>

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b> してください (入学願書と同時に印刷できます。)。角形2号封筒 (24cm×33.2cm) の表面に、 はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署(20ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、エントリーシート及び探究活動レポートの内容を評価します。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <td style="text-align: center;">エントリーシート及び探究活動レポート</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100 点</td> </tr> </table>	エントリーシート及び探究活動レポート	100 点
エントリーシート及び探究活動レポート			
100 点			
採点・評価基準	エントリーシート及び探究活動レポートでは、求められている内容が様式に従って適切に示されているかを評価します。		
合 否 判 定 基 準	調査書、エントリーシート及び探究活動レポートを総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和7年10月18日(土)		
時 間	9:00～15:00(予定)		
選 抜 方 法	数 学	科目等	面接(口頭試問を含みます。)
		選抜方法	探究活動レポートの内容に基づく質疑応答を行います。 その他、数学に関する口頭試問を実施します。口頭試問の出題範囲は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学Cです。※数学Bの出題範囲は「数列」、数学Cの出題範囲は「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」とします。 面接では、黒板又はホワイトボード等を用いて説明してもらう場合があります。 面接は20分程度実施します。

選 抜 方 法	物理学	科目等	面接（口頭試問を含みます。）	
		選抜方法	探究活動レポートの内容に基づく質疑応答を行います。その他、物理に関する口頭試問を実施します。口頭試問の出題範囲は物理基礎及び物理です。面接では、黒板又はホワイトボード等を用いて説明してもらう場合があります。面接は20分程度実施します。	
	化学	科目等	プレゼンテーション（受験者相互による質疑応答を含みます。）、レポート	
		選抜方法	探究活動の内容について、スライドを用いたプレゼンテーション（8分間）の後、その内容に関する質疑応答を行います。この質疑応答には、審査員だけでなく、受験者同士による質問も含まれます。プレゼンテーションに使用するスライドは、探究活動の成果発表会等で使用したものを再利用できます。過去の発表で作成したスライドがある場合は、準備の負担を軽減できます。発表時にはプロジェクターを使用してスライドを投影します。全ての発表が終了した後には、自分の発表に対する質問とその回答に加え、他の受験者の発表に対する感想や評価、さらに発表全体を通して得た学びをまとめたレポートを作成して提出してもらいます。	
	生物学	科目等	小論文、面接（プレゼンテーション及び口頭試問を含みます。）	
		選抜方法	小論文（1時間）の後、面接（30分程度）を実施します。小論文については、生物学に関する簡単な和文を読み、要約や自身の考えなどを記してもらいます。面接では、生物学に関する口頭試問のほか、実施した生物学に関する探究活動の内容の説明（プレゼンテーション）とそれに対する質疑応答を含みます。なお、スライドやポスターは説明に使用できません。	
	地球科学	科目等	面接（作業※及びプレゼンテーションを含みます。） ※標本観察、読図等	
		選抜方法	標本観察や資料を用いた読図・作図・文章の要約等の作業課題（1時間程度）を行った後、課題に関するプレゼンテーション及び出願書類（エントリーシート及び探究活動レポート）の内容に基づく質疑応答（30分程度）を行います。作業課題やプレゼンテーション、質疑応答は受験者ごとに行います。	
	配 点	選抜区分共通	100点	
	採点・評価基準	選抜区分共通	基礎学力、自主的な学習意欲、自己表現力、チャレンジ精神を評価します。	
	合 否 判 定 基 準	第2次選抜の得点により、選抜区分ごとに合否を判定します。		

◎ 理学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年9月19日（金）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和7年11月4日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

- (注) 1 合否のお問合せには、一切応じません。  
2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページが繋がりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続書類提出期間  
令和7年12月10日（水）から12月15日（月）（必着）（土・日曜日を除きます。）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和7年12月15日（月）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学料：282,000円
- (3) 提出書類  
詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

### ※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和7年12月15日（月）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。  
また、特別の事情がある場合は、令和8年2月18日（水）までに提出し、許可を得てください。  
この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

令和8年1月に実施される大学入学共通テストの下記指定科目について解答し、自己採点結果を理学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます）。

提出に係る詳細は、合格通知の際にお知らせします。

なお、これは入学までの期間の勉学意欲継続のために行うものです。

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1』及び『数学Ⅱ，数学B，数学C』の計2科目
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2科目 ※『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合には、4つの出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
外 国 語	『英語』（リスニングを含みます。）
情 報	『情報Ⅰ』

## 【工学部フレックスコース】

### 1 募集人員

学科名	募集人員
システム創成工学科	6人（「一般枠」3人、「女子枠」3人）

### 2 趣旨

システム創成工学科は、「自ら考え、手足を動かし、学ぶ」ことにより、企業内の技術的リーダーや起業家となるような独創的な「人財の育成」を教育目標に据えた新しい発想の学科です。

従来の工学系分野の枠にとらわれることなく、例えば情報・知能科学とバイオ化学というように、複数の分野を学ぶことが可能となっています。そのことにより、学際的視野を持ち、ものづくりの基本を修得し、企業内での技術的貢献のみならず経営にも参画しうる「人財」を養成することを可能としています。

上記のようなコース・学科の教育目標に鑑み、従来の入学試験では推し量れないような才能や能力などを多面的に評価し、将来性豊かな人の発掘を目指して次のような試験を実施します。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により判定します。女子枠では、特にエンジニア若しくは研究者になりたい理由を含めて記入してもらい、調査書及び自己PR書と合わせて判定します。

第2次選抜では入学志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、システム創成工学科の教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、勉強意欲、技術者としての適性ならびに社会人基礎力と言われる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」等、多角的な観点から入学志願者の能力と将来性を測ることとしています。女子枠では、上記に加えて「自分の持つ考えや個性をエンジニア若しくは研究者としてどのように活かしていきたいか、また、どのように社会問題に取り組んでいくか」などについて聞き、表現力や思考力を総合的に評価します。

### 3 出願資格・出願要件

一般枠	次のすべての資格・要件を満たす者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者 又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
女子枠	次のすべての資格・要件を満たす女子 ※「女子」は戸籍上における性別「女」を対象とする。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者 又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

※一般枠は性別を問わず出願することが可能です。ただし、一般枠と女子枠の併願はできません。

### 4 出願期間等

#### (1) 出願期間

令和7年9月1日（月）から9月4日（木）まで

※持参・郵送ともに9月4日（木）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

#### (2) 出願書類の提出先

工学部入試担当（20ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。インターネット出願登録時に「入試枠」で「一般枠」又は「女子枠」のいずれか1つを選択してください。

なお、「一般枠」と「女子枠」の併願はできません。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日（火）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
志望理由書 【工学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「システム創成工学科を志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」及び「卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）」に分けて、各事項について<b>400字</b>以内で記入してください。</li> <li>○ 女子枠に出願する者は、特にエンジニア若しくは研究者になりたい理由を志望理由書に記入してください。</li> </ul>
自己PR書 【工学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ片面で印刷</b>し、①特別活動（部活動）や、学校外の活動等で成果を上げるよう努力した、②通学距離が長いにもかかわらず、徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PRしたい内容を<b>400字</b>以内で記入してください。</li> </ul>
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</li> </ul>
出願書類提出用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</li> </ul>

（注）1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（20ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。		
	調査書	志望理由書	自己PR書
	20点	50点	30点
採点・評価基準	<p>志望理由書では、自身の将来像が示され、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR内容をもとに、主体性や実行力などの前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力等、多角的な視点から入学志願者の能力を評価します。</p> <p>女子枠では、特に「エンジニア若しくは研究者になりたい理由」について、自身の考えや具体性が示されているかを評価します。</p>		
合否判定基準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和7年10月17日(金)		
時 間	9:00～15:00(予定)		
科 目 等	<p>面接(口頭試問を含みます。)</p> <p>口頭試問における出題範囲は次のとおりです。</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">出題範囲</th> </tr> <tr> <td> <p>数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域</p> <p>理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択</p> <p>(1) 物理基礎の全領域及び物理のうち「様々な運動」</p> <p>(2) 化学基礎の全領域及び化学のうち「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」</p> <p>英語：英文の基礎力</p> <p>(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ)</p> </td> </tr> </table>	出題範囲	<p>数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域</p> <p>理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択</p> <p>(1) 物理基礎の全領域及び物理のうち「様々な運動」</p> <p>(2) 化学基礎の全領域及び化学のうち「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」</p> <p>英語：英文の基礎力</p> <p>(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ)</p>
出題範囲			
<p>数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域</p> <p>理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択</p> <p>(1) 物理基礎の全領域及び物理のうち「様々な運動」</p> <p>(2) 化学基礎の全領域及び化学のうち「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」</p> <p>英語：英文の基礎力</p> <p>(英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ)</p>			
選 抜 方 法	<p>面接(口頭試問を含みます。)を30分程度行います。</p> <p>なお、面接(口頭試問を含みます。)では出願書類を参考にします。</p> <p>配点は次のとおりです。</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">面接(口頭試問を含みます。)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	面接(口頭試問を含みます。)	100点
面接(口頭試問を含みます。)			
100点			
採点・評価基準	<p>面接(口頭試問を含みます。)は、基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価します。</p> <p>女子枠では、面接で特に「エンジニア若しくは研究者になりたい理由」について聞き、将来、どのように社会に活かしていきたいか、社会問題に取り組んでいきたいか等について、その具体性や挑戦意欲などを総合して評価します。</p>		
合 否 判 定 基 準	<p>1 面接(口頭試問を含みます。)の結果により合否を判定します。</p> <p>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。</p>		

◎ 工学部試験場(米沢市城南四丁目3-16)において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年9月24日（水）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和7年11月4日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

- (注) 1 合否のお問合せには、一切応じません。  
2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページが繋がりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続書類提出期間  
令和7年11月10日（月）から11月13日（木）（必着）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和7年11月13日（木）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学料：141,000円
- (3) 提出書類  
詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

※留意事項（入学辞退について）

- やむを得ず入学を辞退する場合には、令和7年11月13日（木）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。  
また、特別の事情がある場合は、令和8年2月18日（水）までに提出し、許可を得てください。  
この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額267,900円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 入学前の指導

### (1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してe-ラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知の際にお知らせします。

### (2) 令和8年度大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

令和8年1月に実施される大学入学共通テストの下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます）。

大学入学共通テストの数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

なお、提出に係る詳細は、合格通知の際にお知らせします。

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	『『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1』及び『数学Ⅱ，数学B，数学C』の計2科目
理 科	『物理』，『化学』，『生物』から2科目
外 国 語	『英語』（リスニングを含みます。）
情 報	『情報Ⅰ』

※ 教科・科目は予定であり、詳細は合格通知の際にお知らせします。

## 【農学部】

### 1 募集人員

学科名	募集人員
食料生命環境学科	10人

### 2 趣旨

本学部は、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、「広義の農学」の視点から、食料生命環境学科と附属やまがたフィールド科学センター（FSC）、全学組織のやまがたアグリフードシステム先端研究センター（YAAS）及び山形大学農山村リジェネレーション共創研究センターにおいて活発な教育・研究を進めています。

「広義の農学」とは、農林水産業と直結する学問をはじめ、衣食住との関わりをベースとし、人類の生存、生活に貢献することを目標とした生物・生命に関する学問、環境科学、生活科学、社会科学等の生物生産と人間社会との関わりを基盤とする学問等、幅広い分野を含む総合科学を意味しています。

本学部では、「広義の農学」への熱意を持ち、人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題などの解決、生命現象の解明に正面から取り組む強い意欲がある方を選抜するため、書類選抜と面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）により多面的に評価する総合型選抜を実施します。

第1次選抜は、調査書、志望理由書、プレゼンテーション概要により、これまでの活動内容や農学部で学ぶための目的意識と修学意欲について評価します。

第2次選抜は、面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）により、表現力、知識、「広義の農学」への熱意、基礎的な学力、積極性、アドミッション・ポリシーの理解度等について評価します。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- （1） 「広義の農学」に含まれる分野に関して熱意を持って取り組んだ実績を持つ者（高等学校での課外活動だけでなく、高等学校以外の団体での活動や個人の活動も対象とする。具体例としては、農業クラブでの取り組み、科学部等のクラブ活動での取り組み、スーパーサイエンスハイスクール指定校・スーパーグローバルハイスクール指定校・スーパープロフェッショナルハイスクール指定校での取り組み、課題研究各種発表会出場・入賞、大学や研究機関主催のセミナーやプログラムへの参加等。）
- （2） 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは令和8年3月卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年を修了した者若しくは令和8年3月修了見込みの者
- （3） 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に申し込むことができません。

### 4 出願期間等

- （1） 出願期間

令和7年9月1日（月）から9月4日（木）まで

※持参・郵送ともに9月4日（木）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

- （2） 出願書類の提出先

農学部入試担当（20ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようにします。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意		
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日（火）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>		
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。 また、2つ以上の高等学校に在籍していた場合は、以下①又は②いずれかの書類を提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現在籍校の調査書と併せて以前に在籍していた高等学校全ての調査書又は成績証明書（厳封）</li> <li>② 編入・転入前の成績を現在籍校の調査書に転記し、その旨を明記したもの</li> </ul> </li> </ul>		
志望理由書 【人文社会科学部・教育学部・農学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「志望する理由」、「入学した場合のような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」及び「卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）」に分けて、各事項について <b>400 字</b>以内で記入してください。</li> </ul>		
プレゼンテーション概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、第2次選抜に自らが行うプレゼンテーションの概要について <b>1,000 字</b>以内で記入してください。 プレゼンテーションのテーマは次のとおりです。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>プレゼンテーションのテーマ</td> </tr> <tr> <td>「広義の農学」に含まれる分野の中で、これまでに自分が熱意を持って取り組んだ事柄について</td> </tr> </table>	プレゼンテーションのテーマ	「広義の農学」に含まれる分野の中で、これまでに自分が熱意を持って取り組んだ事柄について
プレゼンテーションのテーマ			
「広義の農学」に含まれる分野の中で、これまでに自分が熱意を持って取り組んだ事柄について			
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</li> </ul>		
出願書類提出用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</li> </ul>		

（注）1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。

4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（20ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	<p>提出された調査書、志望理由書及びプレゼンテーション概要の内容を評価します。 配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査書、志望理由書及びプレゼンテーション概要</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100 点</td> </tr> </table>	調査書、志望理由書及びプレゼンテーション概要	100 点
調査書、志望理由書及びプレゼンテーション概要			
100 点			
採点・評価基準	<p>志望理由書では、求められている内容が様式に従って適切に示されているかを評価します。 プレゼンテーション概要では、プレゼンテーションの内容がわかりやすく論理的に表現されているかを評価します。</p>		
合否判定基準	<p>調査書、志望理由書及びプレゼンテーション概要を総合して合否を判定します。</p>		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和7年10月11日（土）		
時 間	9：00～17：00（予定）		
科 目 等	面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）		
選 抜 方 法	<p>面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）では、プレゼンテーションを行った後、その内容（グループでの成果の場合は役割分担についても問います。）等についての質疑応答と口頭試問を行います。その後、志望理由書等の提出書類及びアドミッション・ポリシーに基づく質疑応答を行います。プレゼンテーションの発表時間は10分程度で、質疑応答と口頭試問を含めて試験時間は25分程度です。 なお、配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">300 点</td> </tr> </table>	面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）	300 点
面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）			
300 点			
採点・評価基準	<p>面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）では、テーマに関する知識、表現力及び「広義の農学」への熱意、基礎的な学力（高等学校卒業程度）、積極性、アドミッション・ポリシーの理解度等を評価します。</p>		
合否判定基準	<p>面接（プレゼンテーション、口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。</p>		

◎ 農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年9月29日（月）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和7年11月4日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

- (注) 1 合否のお問合せには、一切応じません。  
2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続書類提出期間  
令和7年12月10日（水）から12月15日（月）（必着）（土・日曜日を除きます。）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和7年12月15日（月）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学料：282,000円
- (3) 提出書類  
詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和7年12月15日（月）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和8年2月18日（水）までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 入学前の指導

本学部では、入学後、大学での勉学にスムーズに移ることができるよう、合格者に対して課題を課します。なお、課題の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## Ⅶ 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）

### 学部別募集要項細目

#### 【工学部昼間コース】

##### 1 募集人員

学科・コース名		募集人員
高分子・有機材料工学科		7人（3人）
化学・バイオ工学科	応用化学・化学工学コース	5人（2人）
	バイオ化学工学コース	5人（2人）
情報・エレクトロニクス学科	情報・知能コース	5人（2人）
	電気・電子通信コース	5人（2人）
機械システム工学科		8人（3人）
建築・デザイン学科		3人（1人）

※募集人員の（ ）内については、山形県内高校等の受験者を対象に可否判定を行う人数であり、内数です。

##### 2 趣旨

グローバルが進むなかで、地域社会を支える機械、情報・エレクトロニクス、化学・バイオ、材料、建築等様々な分野の製造業をはじめ、農林水産業、小売・流通業においても、幅広い視野で地域産業の革新を推し進めるためには、高等教育機関で工学を修め、身に付けた開発力・企画力によって企業経営の一翼をも担える人材が求められています。

総合型選抜Ⅱでは、工学部において高い知識とものづくり技術を習得し、将来、自分の生まれ育った地域や地方において活躍したいという意欲に燃えた方を求めます。

##### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者
- (2) 山形県内高校等の生徒で、山形県の産業の発展に貢献することを強く望む者又は山形県外の高校等の生徒で、それぞれの生まれ育った地域や地方において産業の発展に貢献することを強く望む者
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅱ及び本学の総合型選抜Ⅰには同時に出願することができません。

##### 4 出願期間等

- (1) 出願期間

令和7年9月1日（月）から9月4日（木）まで

※持参・郵送ともに9月4日（木）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

- (2) 出願書類の提出先

工学部入試担当（20ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日（火）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
志望理由書 【工学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「<b>志望する理由</b>」、「<b>入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由</b>」及び「<b>卒業後地域社会において、どのように貢献したいか</b>」に分けて、各事項について <b>400字</b>以内で記入してください。</li> </ul>
自己PR書 【工学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ片面で印刷</b>し、①特別活動（部活動）や、学校外の活動等で成果を上げるよう努力した、②通学距離が長いにもかかわらず、徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PRしたい内容を <b>400字</b>以内で記入してください。</li> </ul>
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</li> </ul>
出願書類提出用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</li> </ul>

（注）1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（20ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 期 日	令和7年9月13日（土）		
時 間	9：00～11：00		
科 目	レポート		
選 抜 方 法	当日与えられる課題に対してレポートを作成していただきます。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>レポート</td> </tr> <tr> <td>100点</td> </tr> </table>	レポート	100点
レポート			
100点			
採点・評価基準	レポートは、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価します。		
合否判定基準	レポートの結果に加えて、調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

受験上の留意事項等の詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和7年10月18日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における出題範囲は次のとおりです。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>出題範囲</td> </tr> <tr> <td>数学：数学Ⅰ及び数学Aの全領域 理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択 （1）物理基礎の全領域 （2）化学基礎の全領域</td> </tr> </table>	出題範囲	数学：数学Ⅰ及び数学Aの全領域 理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択 （1）物理基礎の全領域 （2）化学基礎の全領域
出題範囲			
数学：数学Ⅰ及び数学Aの全領域 理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択 （1）物理基礎の全領域 （2）化学基礎の全領域			
選 抜 方 法	本選抜の趣旨を踏まえ、生まれ育った地域や地方において、どのように貢献したいか、自らの考えを説明してもらい、その説明に関する質疑応答を行います。 なお、面接（口頭試問を含みます。）では出願書類を参考にします。 その他、数学・理科に関する口頭試問を実施します。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>面接（口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td>100点</td> </tr> </table>	面接（口頭試問を含みます。）	100点
面接（口頭試問を含みます。）			
100点			
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は、受験者の意欲、積極性、基礎学力を評価します。		
合否判定基準	1 面接（口頭試問を含みます。）の成績により、合否を判定します。 面接（口頭試問を含みます。）では第1次選抜のレポートの内容、調査書、志望理由書及び自己PR書を参考にします。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。		
合否判定方法等	募集人員のうち、まず（ ）内の人数について山形県内高校等の受験者を対象に判定を行い、その後、全受験者を対象に判定を行います。		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年9月24日（水）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和7年11月4日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

- (注) 1 合否のお問合せには、一切応じません。  
2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続書類提出期間  
令和7年11月10日（月）から11月13日（木）（必着）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和7年11月13日（木）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学料：282,000円
- (3) 提出書類  
詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

※留意事項（入学辞退について）

- やむを得ず入学を辞退する場合には、令和7年11月13日（木）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。  
また、特別の事情がある場合は、令和8年2月18日（水）までに提出し、許可を得てください。  
この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 入学前の指導

### (1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してe-ラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知の際にお知らせします。

### (2) 令和8年度大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

令和8年1月に実施される大学入学共通テストの下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます）。

大学入学共通テストの数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

なお、提出に係る詳細は、合格通知の際にお知らせします。

〈建築・デザイン学科以外の学科〉

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1』及び『数学Ⅱ，数学B，数学C』の計2科目
理 科	『物理』，『化学』，『生物』から2科目
外 国 語	『英語』（リスニングを含みます。）
情 報	『情報Ⅰ』

〈建築・デザイン学科〉

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1』及び『数学Ⅱ，数学B，数学C』の計2科目
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1科目 ※『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合には、4つの出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
外 国 語	『英語』（リスニングを含みます。）
情 報	『情報Ⅰ』

※ 教科・科目は予定であり、詳細は合格通知の際にお知らせします。

## VIII 総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）

### 学部別募集要項細目

#### 【教育学部】

##### 1 募集人員

課程・コース名		実技検査区分名	募集人員（計7人）
学校教育教員養成課程	中学校教員養成コース	美術分野	1人程度
		音楽分野	3人程度
		保健体育分野	3人程度

##### 2 趣旨

本コースでは、高等学校までの基礎的な学力を身に付けて、多様な人々が互いに尊重し学び合って生涯成長し続けるコミュニティを地域に創生することに貢献する意欲を持ち、今日的社会の要請に応える高度な専門性を有した上で、地域社会のウェルビーイングを増進させることができる中学校・高等学校教員を目指す人を受け入れます。また、中等教育に加えて、小学校と中学校の連携・接続についての知識を持つ教員や、障害のある子供への適切な指導を行うことができる教員になることを希望する人を受け入れます。

確かな基礎学力を有し、美術、音楽又は保健体育の教員を目指す人を対象とし、総合型選抜Ⅲを実施します。美術、音楽、スポーツの各分野における実技能力や教員としての資質・適性・将来性と、確かな基礎学力とのバランスを重視した選考を行います。

第1次選抜では、書類選抜により、①基礎的な学力及び思考力・表現力、②高等学校時代の課外活動の記録、③教員になることへの強い意欲、④新たな課題に挑戦しようとする意欲等を総合的に評価します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・保健体育から1つを選択します。）により、①思考力・判断力・表現力、②教員になることへの強い意欲、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、④基礎的な実技能力等を総合的に評価します。

上記に加え、確かな基礎学力を評価するために大学入学共通テスト（3教科3科目）を課し、①面接（口頭試問を含みます。）、②実技検査、③大学入学共通テストを総合して合否を判定します。

##### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
    - ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者
    - ②高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者
  - (2) 令和8年度大学入学共通テスト（本学が指定した教科・科目・出題範囲）を受験する者（注）
  - (3) 合格した場合、入学することを確約できる者
- （注） 令和7年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。

## 4 出願期間等

### (1) 出願期間

令和7年11月26日(水)から12月1日(月)まで(土・日曜日を除きます。)

※持参・郵送ともに12月1日(月)まで(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(注) 出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送(書留速達)の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕をもって送付してください。

### (2) 【第1次選抜合格者のみ】「大学入学共通テスト成績請求チケットはり付け台紙」については令和8年1月8日(木)まで(必着)



### (3) 出願書類の提出先


地域教育文化学部入試担当(20ページ参照)に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願期間内に本学に届くように郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和8年3月31日(火)まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を入力してください。</li> </ul>
大学入学共通テスト成績請求チケットはり付け台紙 <b>【第1次選抜合格者のみ】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ片面で印刷</b>し、「大学入学共通テスト成績請求チケット」をはり付け、<b>令和8年1月8日(木)まで必着</b>するように地域教育文化学部入試担当へ提出してください。 なお、<b>【大学入学共通テスト成績請求チケット】を期限までに提出しない場合は、受験者としての権利を失います。</b>特別な事情により、期限までに提出できない場合は、地域教育文化学部入試担当へ連絡してください。</li> </ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
志望理由書 <b>【人文社会科学部・教育学部・農学部用】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「<b>中学校教員養成コースを志望する理由</b>」、「<b>入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由</b>」に分けて、各事項について<b>400字以内</b>で記入してください。</li> </ul>
自己PR書 <b>【人文社会科学部・教育学部用】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、PRしたい内容を<b>1,000字以内</b>で記入してください。特に下記の①～③に該当する内容がある場合はそれについて記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校内の特別活動や部活動等での顕著な成績。</li> <li>②学校外の活動(音楽・美術の場合はコンクール、演奏活動などを含む。)における表彰、受賞歴。</li> <li>③上記①及び②に記載の活動において、入学志願者本人が成果獲得に向けて取り組んだ具体的なプロセス。</li> </ul> </li> <li>なお、<b>評価の対象となる活動は高等学校在学時(中等教育学校においては後期課程在学時)のみとします</b>(小・中学校時等の活動は評価の対象となりません。)</li> </ul>

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
自己PR書 【人文社会科学部・ 教育学部用】	<p>○ 自己PR書に記入した①及び②について、<u>表彰等の実績がある場合</u>，これらを証明する以下の書類等の写しを添付してください。</p> <p>なお、<u>書式はA4片面（拡大・縮小可）に統一してください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰状（大会が地区予選・本選等にわかれている場合は、最終的な成績がわかるもののみ）</li> <li>・コンクール、発表会等に参加したことがわかるプログラム、演目等（氏名等の記載がある該当ページのみ）</li> </ul> <p>※表彰状がある場合、同大会若しくは同コンクール等のプログラムを提出する必要はありません。</p>	
添付資料	以下の各分野から、 <b>いずれか1つ</b> を選択し、指定する資料を提出してください。	
美術 分野	ポートフォリオ	<p>○ 下記のアと、イ・ウどちらかひとつを含め、PDFファイルにまとめたもの。（アは必須）</p> <p>ア. 出願前2年以内に入学志願者本人が制作した鉛筆による人物素描と静物素描の作品各1点。</p> <p>イ. 美術分野における過去の作品や活動の様子等（分量任意）。</p> <p>ウ. あなたが興味を持っている美術作品1点を取り上げ、その作品について適宜図版等を交えながら記述したレポート（2,000～3,000字程度）。</p> <p>○ PDFファイルの1ページ目とファイル名に「氏名」を入力してください。</p> <p>PDFファイルは、任意のオンラインストレージサービスを利用し、ダウンロードリンクのURLを出願期間内に地域教育文化学部入試担当へメールで送付してください。</p> <p>地域教育文化学部入試担当メールアドレス yu-nyuiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp</p>
	学校長等の 証明書 (様式任意)	○ ポートフォリオが、入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書（学校長による証明が困難である場合、造形教室の先生等、証明できる者の証明書であれば可）
音楽 分野	<p>○ 【音楽分野】で受験する場合は、【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】【作曲】のいずれか1つを選択してください。</p> <p>【管弦打楽器】選択者は、66ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項」を確認してください。</p> <p>○ 受験者全員が、下記のURL又は二次元コードから演奏曲等に関する情報登録をしてください。</p> <p>URL : <a href="https://forms.office.com/r/uuZxtewyJA">https://forms.office.com/r/uuZxtewyJA</a> </p>	
	音楽の能力を 測るもの	<p>【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】</p> <p>○ 5分以上10分以内の演奏（反復記号の省略可、複数曲可）の動画データ</p> <p>○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ 第1巻、原書番号No.52b), No.58b), No.71, No.83c), No.87b) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。</p> <p>※上記2本の動画データを提出してください。</p> <p>動画データの提出方法については、下記のURL又は二次元コードから確認してください。</p> <p>URL : <a href="https://www.e.yamagata-u.ac.jp/free/nyushi_outline_html">https://www.e.yamagata-u.ac.jp/free/nyushi_outline_html</a> </p>

出 願 書 類		出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
音楽 分野	音楽の能力を測るもの	<p><b>【作曲】</b></p> <p>○ 出願前2年以内に作曲した作品1～3点の楽譜の写し  ※可能であれば上記作品の演奏音源を添付してください。</p> <p>○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ  第1巻, 原書番号No.52b), No.58b), No.71, No.83c), No.87b)  固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。  ※動画データの提出方法については, 下記のURL又は二次元コードから確認してください。  URL : <a href="https://www.e.yamagata-u.ac.jp/free/nyushi_outline_html">https://www.e.yamagata-u.ac.jp/free/nyushi_outline_html</a></p> 	
	学校長等の証明書 (様式任意)	○ <b>【作曲】</b> 受験者は, 作品が入学志願者本人のものであることを証明する学校長等の証明書(学校長による証明が困難である場合, 個人レッスンの先生等, 証明できる者の証明書であれば可)	
保健体育 分野	スポーツ活動に関する調査書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし, 入学志願者本人が主な競技等成績を記入したものを提出してください。 ただし, 競技等成績がない場合は, 「競技等成績なし」欄にチェックしてください。なお, 競技等成績がない場合でも, 総合型選抜Ⅲ(保健体育分野)への出願は可能です。	
	競技等成績を証明するもの	○ 「スポーツ活動に関する調査書」に記入した競技等成績(成績及び記録, 試合出場状況)を客観的に証明できる資料(公式試合における本人の出場記録, 公式記録あるいは大会報告書, 表彰状, 新聞記事事項, スポーツ専門雑誌記事事項, 競技団体の機関紙の写し等)を必ず添付してください。 チームでの成績及び記録等の場合は, 本人が当該チームに所属していることがわかる資料(メンバー表, 大会パンフレットの名簿等)も必ず添付してください。 証明資料の全ページの右上に「スポーツ活動に関する調査書」記載の該当する「証明資料番号」を記入してください。 <u>なお, 書式はA4片面(拡大・縮小可)に統一し, ステープル止めはしないでください。ただし, 自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は, 同一の書類を改めて添付する必要はありません。</u>	
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し, 出願書類をすべて封入し, 出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により, 提出してください。		
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> してください(入学願書と同時に印刷できます)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に, はがれないように全面のり付けではり付けてください。		

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ, その他不備がある場合は, **出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて, 漢字は楷書で書き, 数字は算用数字を用いてください。ただし, こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は, 二重線で消し, 訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は, 必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし, インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に, 正しく入力できない場合は, 入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後, 出力したものを訂正する場合は, 志願学部の担当部署(20ページ参照)に連絡の上, 指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査書、志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	調査書、志望理由書及び自己PR書	100点
調査書、志望理由書及び自己PR書			
100点			
採点・評価基準	志望理由書では、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR内容をもとに、本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。		
合 否 判 定 基 準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

なお、出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	令和7年12月20日（土）																															
時 間	調整の上、決定																															
選 抜 方 法	<p>大学入学共通テスト、実技検査（美術・音楽・保健体育から1つを選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。配点は以下のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>面 接 (口頭試問を含みます。)</th> <th>実技検査</th> <th>大学入学共通テスト</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術分野</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>600点</td> <td>1000点</td> </tr> <tr> <td>音楽分野</td> <td>200点</td> <td>400点</td> <td>600点</td> <td>1200点</td> </tr> <tr> <td>保健体育分野</td> <td>200点</td> <td>200点</td> <td>600点</td> <td>1000点</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、調査書、志望理由書、自己PR書及び添付資料は、面接（口頭試問を含みます。）の際の参考資料となります。 また、選抜区分ごとに、以下の内容で実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）を行います。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2">美術 分野</td> <td>実技検査</td> <td>○ 30分以内で鉛筆による素描のテストを実施します。そのために必要な鉛筆等の画材や道具は各自で準備してください。（素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。）</td> </tr> <tr> <td>面接 (口頭試問を含みます。)</td> <td>○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに、造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関すること及び自身の造形実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。</td> </tr> <tr> <td>音楽 分野</td> <td>実技検査</td> <td>○ 【音楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は、第1次選抜で提出した動画データの楽曲を演奏してください。演奏を途中で止める、又は演奏箇所を指定する場合があります。 ○ 【音楽】受験者で、ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】受験者は、無伴奏で試験を行います。 ○ 【作曲】受験者は、機能和声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間70分）。</td> </tr> </table>					面 接 (口頭試問を含みます。)	実技検査	大学入学共通テスト	合 計	美術分野	200点	200点	600点	1000点	音楽分野	200点	400点	600点	1200点	保健体育分野	200点	200点	600点	1000点	美術 分野	実技検査	○ 30分以内で鉛筆による素描のテストを実施します。そのために必要な鉛筆等の画材や道具は各自で準備してください。（素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。）	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに、造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関すること及び自身の造形実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。	音楽 分野	実技検査	○ 【音楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は、第1次選抜で提出した動画データの楽曲を演奏してください。演奏を途中で止める、又は演奏箇所を指定する場合があります。 ○ 【音楽】受験者で、ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】受験者は、無伴奏で試験を行います。 ○ 【作曲】受験者は、機能和声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間70分）。
	面 接 (口頭試問を含みます。)	実技検査	大学入学共通テスト	合 計																												
美術分野	200点	200点	600点	1000点																												
音楽分野	200点	400点	600点	1200点																												
保健体育分野	200点	200点	600点	1000点																												
美術 分野	実技検査	○ 30分以内で鉛筆による素描のテストを実施します。そのために必要な鉛筆等の画材や道具は各自で準備してください。（素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。）																														
	面接 (口頭試問を含みます。)	○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに、造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関すること及び自身の造形実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。																														
音楽 分野	実技検査	○ 【音楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は、第1次選抜で提出した動画データの楽曲を演奏してください。演奏を途中で止める、又は演奏箇所を指定する場合があります。 ○ 【音楽】受験者で、ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】受験者は、無伴奏で試験を行います。 ○ 【作曲】受験者は、機能和声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間70分）。																														

音楽分野	実技検査	○ 受験者全員に対し、「コールユーブンゲン」の試験を実施します（第1巻，原書番号No.48～No.87から1曲を当日指定します。）。固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかを用いてください。
	面接 （口頭試問を含みます。）	○ 出願書類及び添付資料をもとに，音楽芸術に対する関心や，実技検査の演奏曲又は出願時に提出した作曲作品に関する事 こと及び自身の音楽実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。 また，音楽の基礎力を問うため，楽典（楽語，音程，音階，調，和音等）に関して質問します。
保健体育分野	実技検査	○ 運動能力を評価するためのテストを実施します。実技検査の詳細については，第1次選抜合格時に示します。
	面接 （口頭試問を含みます。）	○ 出願書類及び添付資料をもとに，スポーツ，運動，身体等の基礎的な知識に関する事 こと及び自身の運動実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。
採点・評価基準（実技・面接）		
美術分野	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）では，美術に関わる基礎的能力（発想力，構成力，造形表現力）と適性，学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
音楽分野	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）では，音楽に関わる基礎的能力（演奏能力，楽典等の知識，ソルフェージュ能力）と適性，学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
保健体育分野	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）では，スポーツに関わる基礎的能力（スポーツ，運動，身体等の知識や思考力，運動能力）と適性，学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
合否判定基準	1 大学入学共通テストの得点，実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。	

◎ 試験場：小白川キャンパス（山形市小白川町一丁目4-12）

第2次選抜に向けた詳細については，第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 音楽分野受験にあたっての注意事項

【管弦打楽器】受験者への注意事項

管弦打楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器のいずれかでの受験が可能です。

なお、マリンバ、コントラバスで受験する場合は、第2次選抜当日は本学で用意した楽器を使用させていただきます。

## 8 大学入学共通テストについて

第1次選抜合格者に対して、大学入学共通テストの教科・科目のうち、3教科3科目を課します。

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目を3教科3科目に制限するものではありません。3教科3科目より多くの教科・科目を受験した場合は、受験教科・科目のうち高得点の3教科の成績を用います。また、受験を要する教科・科目及び配点は次のとおりです。

選択分野名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
美術分野	国語	『国語』	国語 200(200)
	地理		
音楽分野	歴史	『歴史総合、日本史探究』	地理* 200(100)
	公民		
保健体育分野	数学	『地理総合／歴史総合／公共』	歴史 200(100)
	理科		
音楽分野	公民	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	公民* 200(100)
	数学		
保健体育分野	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』	数学* 200(100)
	外国語		
保健体育分野	外国語	『英語』（リスニングを含みます。）、『ドイツ語』	理科* 200(100)
	情報		
	情報	『情報Ⅰ』	外国語 200 (リーディング 100) (リスニング 100)
			情報* 200(100)
			[3教科3科目]

- (注) 1 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」について、2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の成績を用います。
- 2 『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合については、3つの出題範囲（「地理総合」、 「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- 3 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合については、4つの出題範囲（「物理基礎」、 「化学基礎」、 「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- 4 大学入学共通テストの「地理歴史」、 「公民」、 「数学」、 「理科」及び「情報」について、配点は100点満点を200点満点に換算します。
- 5 配点欄の\*は傾斜配点していることを示します。  
また、（ ）内の数字は、大学入学共通テストの素点を示します。

## 9 合格者の発表

合格者の発表は、次のとおりです。

発表日時	発表方法	合格通知
第1次選抜合格者発表 令和7年12月12日（金）11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。	合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を郵送します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和8年2月10日（火）11時		合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。 合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

(注) 1 合否の問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

## 10 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続書類提出期間

令和8年2月13日（金）から2月18日（水）（必着）（土・日曜日を除きます。）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和8年2月18日（水）までに入学手続きを完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：282,000円

(3) 提出書類

詳細については、インターネット入学手続サイトのマイページに掲載の入学手続要項を確認してください。

(注) 入学手続には、大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」が必要になります。

※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和8年2月18日（水）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 11 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## IX 受験者心得

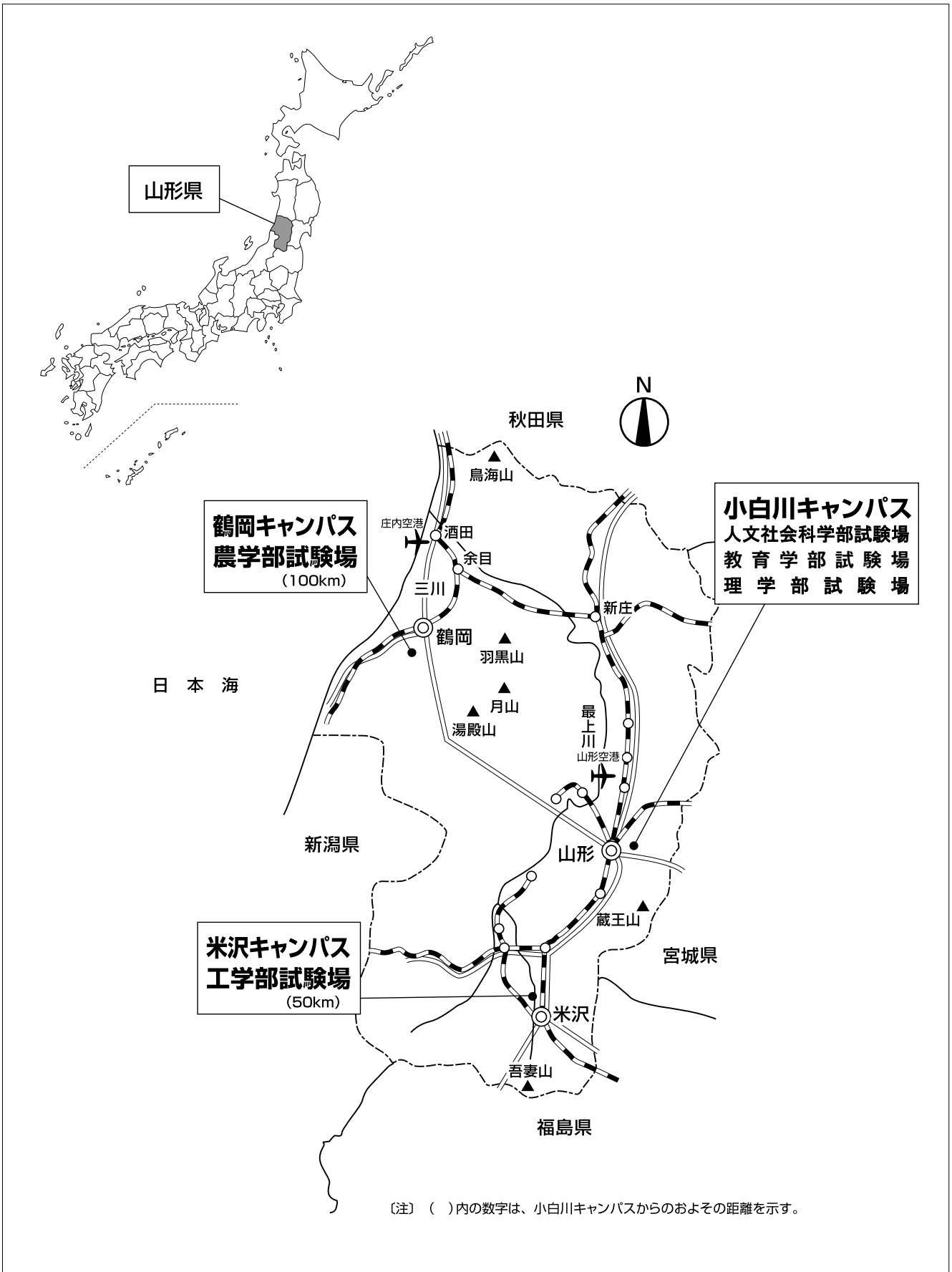
- 1 「山形大学入学試験受験票」について
  - (1) 試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
  - (2) 試験場では、常に「山形大学入学試験受験票」を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
  - (3) 試験当日、「山形大学入学試験受験票」を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
  - (4) 「山形大学入学試験受験票」を紛失した場合は、速やかに志願学部の担当部署（20ページ参照）に申し出てください。
  - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着する等、各自の責任において必要な対応を取ってください。

(過去の事例)

平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。また、令和3年2月13日に発生した福島沖地震により、新幹線等が運休になりました。前期日程試験までに完全復旧にはならず、試験当日に他県から移動した受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。
- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
  - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
  - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
  - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
  - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
  - (5) 解答用紙の所定の位置に大学受験番号が正しく記入されていない場合は、当該科目は採点されず当該科目を受験していないとみなすことがあります。
  - (6) 解答用紙に記入した文字や図が乱雑である、文字が薄い等により、採点時に判読できない場合、正確に採点されないことがあります。
- 9 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。アラーム機能をもつ電子機器類はアラームの設定を解除した上で電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為になります。

- 10 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 11 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 12 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 13 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 14 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 15 受験のための宿泊施設については、本学ではあっせんしていません。
- 16 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。  
また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

**X 山形大学試験場案内図**



## 小白川キャンパス

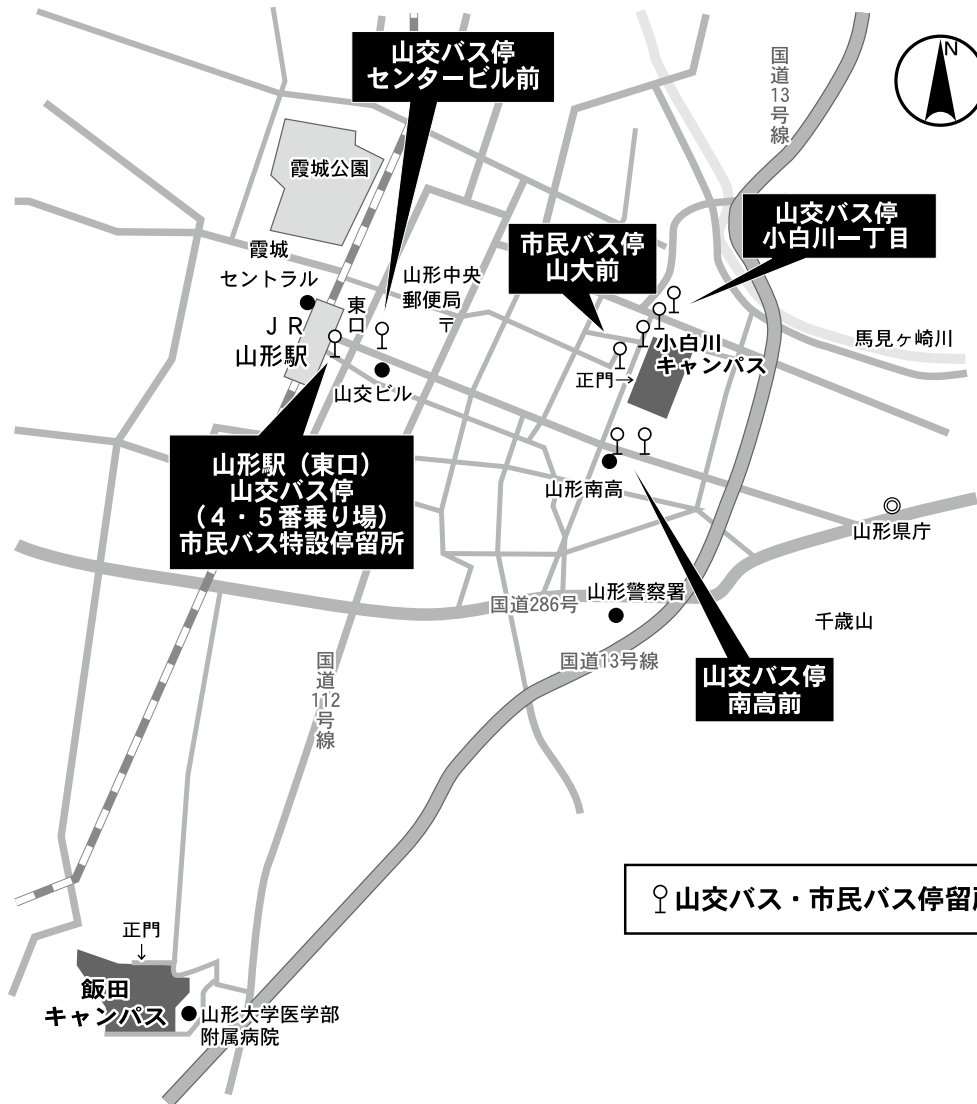
人文社会科学部試験場  
 教育学部試験場  
 理学部試験場

山形市小白川町一丁目 4 - 12

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 山形駅東口から、東方へ約2.5km	約 30 分
市民バス	・ J R 山形駅（東口）特設停留所から「東部エリア・東原町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約9分）、徒歩1分 ・ J R 山形駅（東口）特設停留所から「東部エリア・小荷駄町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約19分）、徒歩1分 ・ 時刻表等の詳細については、山形市公式ホームページでご確認ください。 ( <a href="https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp">https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp</a> )	東原町先回りコース 約 10 分
		小荷駄町先回りコース 約 20 分
路線バス (山交バス) (※)	J R 山形駅前停留所（5番乗り場）から「宝沢・関沢」行きバスで「小白川一丁目」下車（約11分）、徒歩3分	約 14 分
	J R 山形駅前停留所（4番乗り場）から「県庁前・県庁北口」行きバスで「南高前・山大入口」下車（約6分）、徒歩7分	約 13 分
	J R 仙台駅前から「山形駅前」行き高速バスで「南高前」下車（約55分）、徒歩7分	約 62 分



※運行状況



○ 山交バス・市民バス停留所

# 米沢キャンパス

工学部試験場

米沢市城南四丁目3-16

※ J R 山形駅から J R 米沢駅までの所要時間は約45分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 米沢駅西口から南西へ約3 km	約40分
	J R 南米沢駅出口から北西へ約500m	約5分
市民バス	J R 米沢駅前停留所から「市街地循環バス右回り（ヨネザアド号（青色のバス）」で「山大正門」下車 ※運行状況： <a href="https://www1.busnav.net/yonezawa/">https://www1.busnav.net/yonezawa/</a>	約15分
	J R 米沢駅前停留所から「学園都市線」で「城南二丁目」下車 徒歩3分	約30分



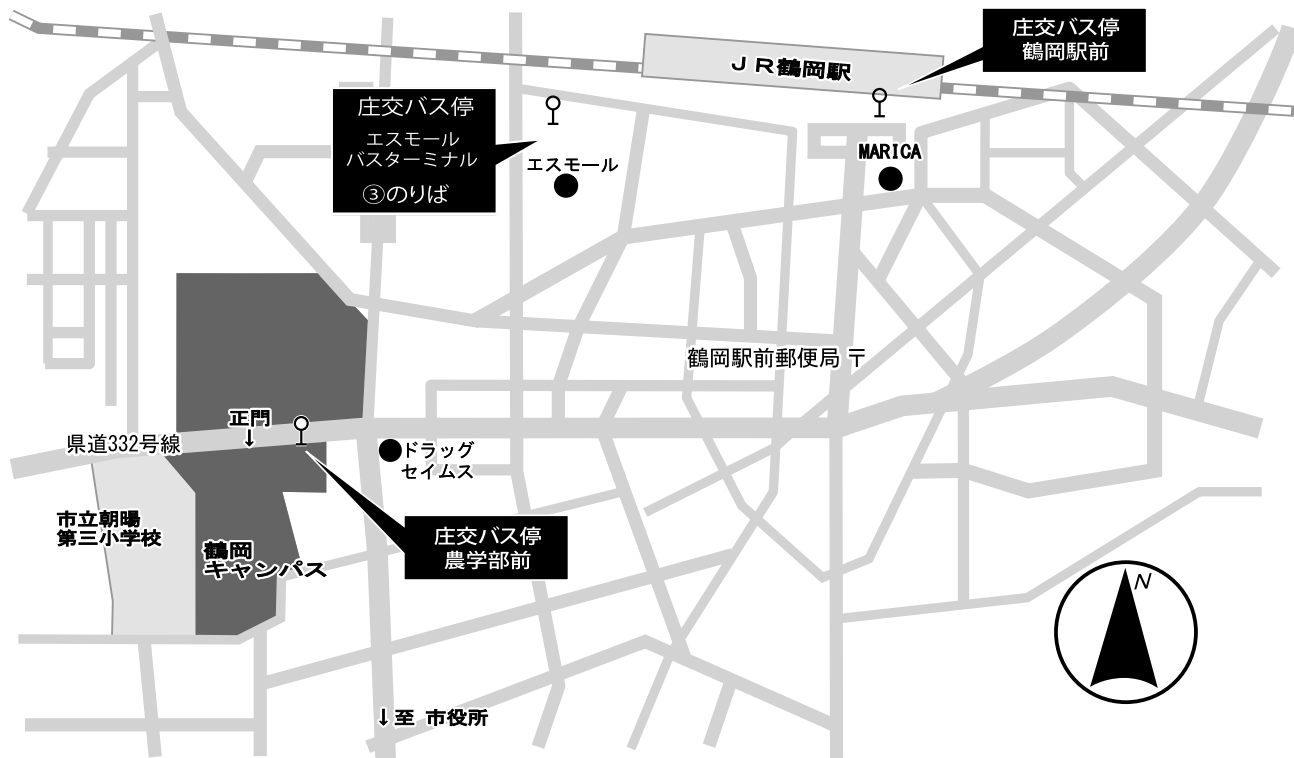
## 鶴岡キャンパス

農学部試験場

鶴岡市若葉町1-23

※ J R山形駅から鶴岡エスモールまでの所要時間は、高速バス約120分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 鶴岡駅から南西へ約1 km	約15分
路線バス (庄内交通)	J R 鶴岡駅前停留所から「鶴岡市内循環 B コース (左回り)」で「農学部前」下車 ※便数が少ないため、ご利用の際は運行状況をご確認ください。 運行状況： <a href="http://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html">http://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html</a>	約6分



## XI 大学案内及び学部のパンフレット請求方法

- ◎ 大学案内及び学部パンフレット（医学部・工学部）をご希望の方は以下により請求してください。  
なお、請求される際は、テレメールが定める個人情報の取扱いについてご確認願います。

### 1 山形大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ(<https://www.yamagata-u.ac.jp>)「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメールによる請求ができます。

### 2 テレメールによる請求方法

テレメールのサイトにアクセスしてください。



資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料を含む)	発送開始時期(予定)
一般選抜学生募集要項	581002	料金(送料含)は資料等の重量により異なりますので、	令和7年11月下旬
一般選抜学生募集要項+大学案内	541002		令和7年11月下旬
大学案内	561022	請求画面上で各々ご確認願います。	令和7年7月上旬
医学部案内	581042		令和7年8月上旬
工学部案内	561092		令和7年7月中旬

#### 【料金の支払い方法】

資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料として、コンビニ支払いとau PAY請求書支払いは118円、携帯キャリア払い、クレジットカード払い及びPayPayは30円が別途必要です。

また、1回分の手数料で複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

テレメールでの請求方法についてのお問合せは

**テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで**

## ☆ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】

〔確認方法〕

下表は、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定である、あるいは、受験したことを確認するための表です。

教育学部入学志願者については66ページの「大学入学共通テストについて」を参照の上、必ず**入学志願者本人**が、下表の確認欄に○をつけて確認してください。

**受験する予定のない、あるいは、受験していない科目が1科目でもある場合は、出願することができません。**

また、「外国語」で『英語』を選択した場合は、リーディングに加えて必ずリスニングを含みます。ただし、令和8年度大学入学共通テストの受験上の配慮として「リスニングの免除」が許可された者についてはリーディングのみとし、リーディングの得点を外国語の指定した配点に換算して利用します。

### 総合型選抜Ⅲ 教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コース

教科	国語		地理歴史				公民			数学①		数学②		理科					外国語				情報
	国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	地理総合／ 歴史総合／ 公民	公民、 倫理	公民、 政治・ 経済	地理総合／ 歴史総合／ 公民 (再掲)	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	生物基礎／ 化学基礎／ 地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ	
科目																							
指定数	1	1						1		1		1					1				1		
確認欄																							
	から3（受験教科・科目のうち高得点の3教科の成績を用います。）																						

大学受験番号	
氏 名	

## 大学入学共通テスト成績請求チケット はり付け台紙

令和8年度共通テスト成績請求チケット  
国公立総合型選抜用  
山形大学  
《注》 はり付け欄

### 【重要】

- 1 本要項 20 ページに記載の志願学部入試担当へ**令和8年1月8日(木)まで必着でご提出ください。**  
※出願期間内に提出する必要はありません。  
大学入学共通テスト出願サイトのマイページから成績請求チケットを印刷し、上記「はり付け欄」にのり付けし、期限までにご提出ください。
- 2 第1次選抜合格者のみ、提出してください。
- 3 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表（本要項 75 ページ）により、志願する学部が指定する大学入学共通テストの教科・科目をすべて受験する予定であることを再度、必ず確認してください。  
本学で指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定がない場合は、出願することができません。  
万一受験科目に不足がある場合は、至急志願学部の担当部署までご連絡ください。















【教育学部学校教育教員養成課程中学校教員養成コース  
(保健体育分野) 用】

大学受験番号

※

## スポーツ活動に関する調査書

(本人直筆で記入し、原本を提出してください。)

フリガナ								
氏名								
生年月日	昭和 平成	年	月	日	性別	男・女		
出身高等 学校等	都道府 県市私立 その他 (			学校	昭和 平成 令和	年3月	卒業 卒業見込	
専門種目								
競技等成績								
No.	年月	大会名	種目	所属チーム名	成績及び記録	証明 資料 番号	証明 資料 枚数	
1	年月					①	枚	
	試合出場状況							
2	年月					②	枚	
	試合出場状況							
3	年月					③	枚	
	試合出場状況							
4	年月					④	枚	
	試合出場状況							
5	年月					⑤	枚	
	試合出場状況							
<input type="checkbox"/> 競技等成績なし (競技等成績がない場合はチェックしてください。)								
受賞, 資格等								
No.	年月	内 容				証明 資料 番号	証明 資料 枚数	
1	年月					Ⓐ	枚	
2	年月					Ⓑ	枚	
3	年月					Ⓒ	枚	

※印の欄は、記入しないでください。  
裏面に記入上の注意点及び記入例があります。

## スポーツ活動に関する調査書記入上の注意点及び記入例

### <競技等成績欄>

- ・上段から成績又は記録の良い順番に記載してください。
- ・全国大会に出場した実績を有する場合は、出場権を獲得した地方大会等の結果を記載するのではなく、全国大会に出場した旨が分かるように、年月、大会名、種目、所属チーム名、成績及び記録を記載してください。
- ・陸上や競泳等、タイムや距離等の記録で成績の決まる競技については、その記録についても必ず記載してください。
- ・試合出場状況欄については、記載した大会について、下記の記入例を参考にして入学志願者本人の試合出場状況を具体的に記載してください。

例) 4 試合中 2 試合にスターティングメンバーとして出場した。  
(総出場時間約◆◆分)。

3 試合中 1 試合に途中交代で出場した(総出場時間約◆◆分)。

全試合に団体戦の中堅として出場した。

登録メンバーとして参加したが、試合への出場はなかった。

- ・競技等成績がない場合は、「競技等成績なし」欄にチェックしてください。

### <競技等成績を証明するもの>

- ・記入した競技等成績（成績及び記録，試合出場状況）を客観的に証明できる資料（公式試合における本人の出場記録，公式記録，あるいは大会報告書，表彰状，新聞記載事項，スポーツ専門雑誌記載事項，競技団体の機関紙の写し等）を必ず添付してください。
- ・チームでの成績及び記録等の場合は，本人が当該チームに所属していることがわかる資料（メンバー表，大会パンフレットの名簿等）も必ず添付してください。
- ・証明資料の全ページの右上に本調査書記載の該当する「証明資料番号」を記入してください。
- ・書式はA4片面（拡大・縮小可）に統一し，ステープル止めはしないでください。ただし，自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は，同一の書類を改めて添付する必要はありません。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により，中止・延期となった大会や資格・検定試験等に参加できず，その結果を記載できない場合には，「競技等成績」欄，あるいは「受賞，資格等」欄に「参加予定」であったことを明記した上で，その内容を記載してください。なお，この場合においても，「参加予定」であったことが客観的に証明できる資料(令和8年度総合型選抜学生募集要項 34 ページ又は 63 ページにおける「競技等成績を証明するもの」欄を参照)を必ず添付してください。





【理学部用】

大学受験番号

※

# 探究活動レポート

氏名	
志願する 選抜区分	<input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 物理学 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 生物学 <input type="checkbox"/> 地球科学 志願する選抜区分(いずれか1つ)にチェックしてください。

○ これまでに取り組んだ探究活動について

これまでに取り組んだ理学(数学・理科・データサイエンス)に関する探究活動(高校の授業外で行った活動も含む)について一つ選び、その内容をまとめてください。

<b>①課題名</b>
<b>②探究活動の概要</b> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<b>③探究の目的</b> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

裏面に続く

○ 記入にあたり、パソコンで作成することが出来ます。様式は本学ホームページからダウンロードしてご使用ください。手書きで作成する場合は、必ず黒のボールペンを使用して記入してください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。

**○ A4タテ両面で印刷してください。**

※印の欄は記入しないでください。



## 探究活動レポート記入上の注意

1. 探究活動レポートは全2ページで作成してください。
2. パソコンで作成する場合には、フォントをMS明朝、フォントサイズは11ポイントを基本とします。
3. 項目①～⑤について、下記の注意事項に従い枠内に記載してください。
4. 必要に応じて、図表・グラフ・数式等を挿入することができます。印刷した用紙に図表等を貼り付ける場合には、裏面に志願する選抜区分名及び氏名を記載した上で貼り付けてください。

### 項目① 「課題名」

探究活動レポートの内容を表すように、適切な語句を使用して簡潔な課題名をつけてください。

### 項目② 「探究活動の概要」

高校での授業、学外活動、自主的な活動等、探究活動の概要が分かるように、実施時期・実施期間を含め簡潔に記載してください。また、グループによる探究活動の場合は、グループ構成とともに、自分が担当した役割についても記載してください。

### 項目③ 「探究の目的」

探究活動を通して何を明らかにしたかったのか、具体的に記述してください。また、探究活動の内容に興味・関心を持ったきっかけや体験等があれば、簡潔に述べてください。

### 項目④ 「用いた方法と得られた結果」

目的達成のため何をどのように調べたのか、その方法と得られた結果について具体的に記述してください。グループで取り組んだ場合は、担当部分について重点的に記述するとともに、結果に対してどのように貢献したかを述べてください。

### 項目⑤ 「考察・推論」

設定した目的に対して、得られた結果から導き出された結論について、結果に対する予測や比較対象となる先行研究等があればそれらとの比較を含める等を行い、具体的に述べてください。





# 〔 入 試 情 報 〕

## ■山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」

入学者選抜要項・学生募集要項や過去の入試結果、受験生へのお知らせなどを提供しています。

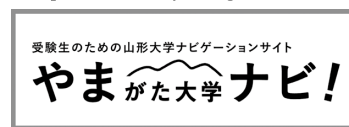
<https://www.yamagata-u.ac.jp>



## ■受験生のための山形大学ナビゲーションサイト やまがた大学ナビ！

大学概要やキャンパスライフ、オープンキャンパスなど、受験生に役立つ情報を紹介しています。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>



## ◎お問合せ先

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	人文社会科学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023)628-4207
教育学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023)628-4310
理学部に関すること	理学部入試担当		(023)628-4710
工学部に関すること	工学部入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農学部入試担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

(注) お問合せは、8:30~17:00(土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月12日~8月15日、10月15日及び12月29日~1月3日を除く。)の時間帯でお願いします。

発行年月：令和7年7月  
作 成：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課  
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12  
TEL (023)628-4141